

北九州市立自然史・歴史博物館  
(北九州市立いのちのたび博物館)  
年報

平成 25 年度



\* 手前の実物大恐竜模型は、スーとして知られるほぼ完全なティラノサウルス・レックスのレプリカで、原標本は米国イリノイ州シカゴのフィールド博物館に展示されています。©KMNH.

その後方には、カマラサウルス、セイスモサウルス、アロサウルス、ズンガリプテルスなどの全身骨格レプリカも見えます。



## ごあいさつ

北九州市立自然史・歴史博物館（いのちのたび博物館）は平成 14（2002）年 11 月 3 日に開館し、平成 24（2012）年 12 月から 10 年の節目にあわせた施設改修工事を行いました。そして、平成 25（2013）年 3 月 23 日に無事リニューアルオープンをむかえることができました。幸い、平成 25 年度は 622,701 人と、それまでの年間平均約 36 万人を大幅にこえる方々にご来館いただいております。これもひとえに多くの方々にご協力いただいた賜物であり、厚くお礼申し上げます。

この博物館は「いのちのたび」をコンセプトとしております。46 億年の地球の歴史を、生命の進化を中心として紹介しています。また、私たち人の歴史も自然とのかかわりを通じた「いのちのたび」ととらえ、リニューアルによってさらに展示の充実をはかったところです。リニューアル後の博物館はこれまで以上にご好評をいただいておりますが、当館の真価が問われるのはこれからです。職員一同、さらなる「進化」をめざして努力していく所存です。

さて、本年度も年報を刊行することとなりました。当館の活動概要を知っていただき、よりよい博物館を創り上げていくための積極的なご意見とさらなるご協力を頂きますようお願い致しまして、刊行のごあいさつとさせていただきます。

平成 26 年 9 月

北九州市立自然史・歴史博物館

館長 伊藤明夫

# 北九州市立いのちのたび博物館「理念と方向性」

## <理 念>

自然と人間の関わりを考える共生博物館

- 1 博物館の展示に於いて示していく
- 2 教育・普及事業に於いて啓発を行う
- 3 資料収集、保存及び研究を進めていく

## <方向性>

知的アクセス権を保障する博物館——知的好奇心への対応

- 1 ミュージアム・ネット化構想を進める
- 2 常に開館している博物館「24時間ミュージアム」を推進する
- 3 知的な疑問や関心に責任を持って応える

セカンドスクールとしての博物館——将来への知的投資

- 1 学校等に対して誘致事業を推進する
- 2 学校教育の支援事業を強化、拡大する
- 3 家庭教育の支援事業を充実する

研究の成果を教育・普及に生かす博物館——社会への知的還元

- 1 知識と経験を生かし、質の高い展示と教育・普及事業を行う
- 2 知の集積施設として外部の委員・講師や他組織の指導・助言を行う
- 3 地域の特性を活かした研究を行い、広く情報を発信する

# 目次

ごあいさつ

北九州市立いのちのたび博物館「理念と方向性」

## 目次

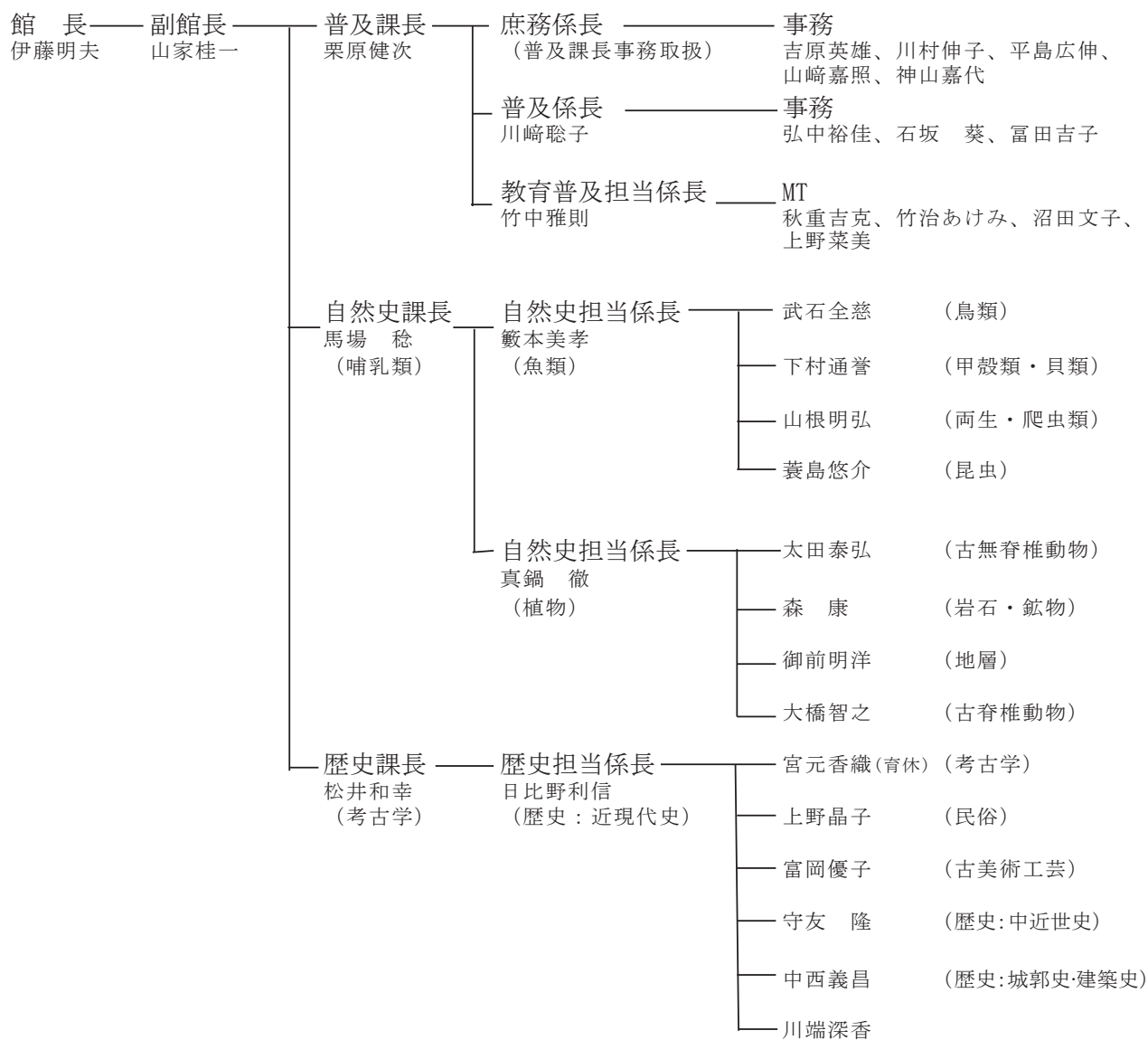
	頁
1. 組織・運営体制.....	1
2. 博物館協議会.....	2
3. 平成 25 年度予算.....	4
4. 施設概要.....	5
5. 沿革.....	6
6. 入館者の状況.....	9
7. 視察受入状況.....	10
8. 報道一覧.....	11
9. 特別展.....	15
10. ぽけっとミュージアム：企画展、テーマ展等.....	20
11. その他の事業.....	22
12. 教育普及活動.....	23
13. 博物館ボランティア（シーダー）の活動.....	29
14. 自然史友の会の活動.....	30
15. 歴史友の会の活動.....	31
16. 資料の収集保存状況.....	32
17. 資料の特別観覧<研究他>状況（自然史・歴史）.....	33
18. 資料の貸出状況（自然史・歴史）.....	33
19. 画像等資料の貸出状況（自然史・歴史）.....	35
20. 学芸員研究業績（自然史）.....	37
21. 学芸員研究業績（歴史）.....	40
22. 博物館刊行物.....	41



# 1. 組織・運営体制

## (1) 平成25年度組織

(平成25年5月末日時点)



## (2) 名誉館員

太田 正道 (2002. 11. 3～)	藤丸 詔八郎 (2005. 4. 1～)
戸来 義臣 (2007. 4. 1～)	税田 昭徳 (2007. 4. 1～)
藤井 厚志 (2008. 4. 1～)	小野 勇一 (2010. 4. 1～)
岡崎 美彦 (2010. 4. 1～)	永尾 正剛 (2011. 4. 1～)
有川 宜博 (2012. 3. 1～)	上田恭一郎 (2013. 4. 1～)

## 2. 博物館協議会

### (1) 博物館協議会委員（任期 平成 25 年 9 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日）

会長	真鍋 真	国立科学博物館地学研究部生命進化史研究グループ研究主幹
副会長	泉 優佳理	北九州市環境審議会委員
	伊澤雅子	琉球大学理学部教授
	岩松文代	北九州市立大学文学部准教授
	上山敬義	北九州市立中央中学校校長
	木村洋子	アトリエ PA0 一級建築士事務所代表
	佐藤睦子	梅光学院大学博物館学芸員
	染川香澄	ハンズ・オン・プランニング代表
	三島美佐子	九州大学総合研究博物館准教授
	森田 稔	九州国立博物館副館長
	柳井貴義	北九州市立大蔵小学校校長

### (2) 開催日時

平成 25 年 11 月 15 日（金） 10:00～12:15

### (3) 内容

#### 1) 平成 24 年度事業実績（博物館年報）について

- ・博物館の組織運営体制
- ・平成 24 年度予算
- ・入館者数・・・369,711 人
- ・報道関係記録
- ・特別展開催実績
  - 「アンモナイトのふしぎ」（前年度からの継続：H. 24. 3. 10～5. 6）、「対決！恐竜展」（H. 24. 7. 14～9. 23）、「いのちのたび博物館 10 年のあゆみ」（H. 24. 10. 20～12. 2）
- ・開館 10 周年記念行事（H. 24. 11. 3～4）
- ・リニューアル事業
  - リニューアル工事（H. 24. 12. 3～H. 25. 3. 22）
    - 常設展改装：「スーとして知られるティラノサウルス・レックス」などの新規標本の追加、アースモール映像演出の追加、エンバイラマ館のリニューアル、ぽけっとミュージアムの全面リニューアル、館内 Wi-Fi 敷設による情報検索端末の変更、カルチャーモールのリニューアル、テーマ館等展示の刷新、「東アジア交流コーナー」の新設など。
    - 設備改修：「こどもミュージアム」の新設、オープンギャラリーの拡張、LED 照明の導入など。
  - リニューアルオープン（H. 25. 3. 23）
- ・教育普及活動



- ・友の会の活動
- ・資料の収集・保存状況
- ・学芸員研究業績及び刊行物

## 2) 平成 25 年度事業計画について

- ・博物館の組織運営体制
- ・平成 25 年度予算
- ・平成 25 年度の入館者状況
- ・平成 25 年度の特別展実施状況
  - 「北九州市の宝もの」(H. 25. 4. 20～6. 16)
  - 「世界の昆虫展」(H. 25. 7. 13～9. 1)
  - 「邪馬台国が見える！日本古代の原風景」(H. 25. 9. 14～11. 4)

## 3) その他

- ・今後の特別展計画
  - 春の特別展「まるごと猫展」、夏の特別展「巨大生物展」、秋の特別展「メタルズ！」、春の特別展「鉱物の魅力展」

## 4) 質疑応答

### 3. 平成 25 年度予算

歳 入 (単位：千円)		歳 出 (単位：千円)	
博物館使用料 (入館料など)	125,269	企画展・特別展開催経費	53,956
ミュージアムショップ使用料など	1,379	資料整備・調査研究経費	16,745
刊行物販売など	2,113	教育普及経費	3,828
		博物館維持管理経費等	252,040
計	128,761	計	326,569

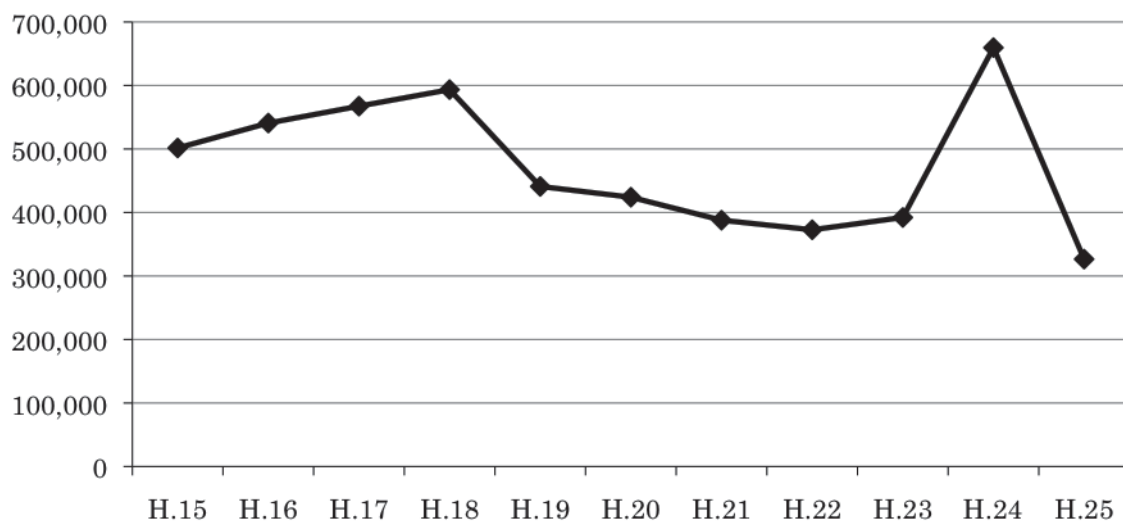
#### 博物館予算 (歳出) の推移

(単位：千円)

年 度	H. 14	H. 15	H. 16	H. 17	H. 18	H. 19	H. 20	H. 21
予算額	2,476,072	501,604	540,788	567,441	593,467	441,058	424,070	387,868
備 考	H. 14. 11. 3 開館		内、太陽光 発電設備整 備 32,000	内、太陽光 発電設備整 備 60,000	内、太陽光 発電設備整 備 108,000			
年 度	H. 22	H. 23	H. 24	H. 25				
予算額	372,731	392,184	659,576	326,569				
備 考			内、博物館展示・ 施設等改修事業 300,000					

#### 博物館予算 (歳出) の推移 (グラフ)

(単位：千円)



\*但し、平成 14 年度は除く。

## 4. 施設概要

構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨構造） 地上 3階  
各室面積

(単位：㎡)

室名	面積	室名	面積	室名	面積
展示部門	6,232	研究処理部門	871	管理部門	624
アースモール(PMを除く)	1,885	地学系研究室	57	館長室	25
ぼけっとミュージアム(PM)	253	生物系研究室(植物・昆虫)	29	副館長室	25
エンバイラマ館(リサーチゾーンを含む)	1,067	生物系研究室(動物・魚類)	29	事務室	163
自然発見館(バイオリウムを含む)	581	歴史研究室	87	応接室	32
ギャラリー館	509	骨格標本作成室	36	会議室	62
歴史展示(カルチャーモールを含む)	1,755	燻蒸室(前室を含む)	30	印刷室・出版物保管室	29
こどもミュージアム(乳幼児対象)	89	解剖室	46	救護室	21
こどもミュージアム(小学生対象)	93	無脊椎動物化石処理室	30	更衣室	13
		脊椎動物化石処理室	30	一般倉庫	57
		岩石鉱物処理室	37	交流員控室	25
		昆虫標本処理室	30	管理人室	26
		動植物標本処理室	60	会議室S	30
		液浸標本処理室	30	会議室R	30
情報部門	1,018	技工室	60	会議室X	49
		整理室	60	外来市民研究室	37
ホール(オープンギャラリーを含む)	509	暗室(前室を含む)	26		
ガイド館(倉庫2を含む)	386	撮影室	41		
情報館	123	電子顕微鏡室	40		
		コンピューター室	28		
		保存科学室	40		
探究部門	204	薬品室・特殊薬品室	25		
実習室	123	シャワー室	6		
講座室	81	器材倉庫	14		
収蔵部門	2,506			サービス部門	463
荷解室	96			ミュージアムショップ	156
一時保管室	64			休憩ルーム	206
組立室	52			休憩デッキ	101
冷凍室・冷蔵室(前室を含む)	49				
地学系収蔵庫	202			供用部門	5,093
液浸標本収蔵庫	221				
重量物収蔵庫	204				
植物標本収蔵庫	234				
動物標本収蔵庫	165				
昆虫標本収蔵庫	238				
模式標本収蔵庫	44				
歴史資料収蔵庫	430				
考古資料収蔵庫(金属器を含む)	75				
特別収蔵庫	71				
古文書・古美術収蔵庫	140				
書庫	138				
展示準備室	83				
				合計	17,011

訂正1：これまでの年報すべてにおいて、「アースモール(PMを除く) 1,855㎡」は、「1,885㎡」の誤りでしたので訂正します。  
訂正2：平成24年度年報において、平成24年度リニューアル改装の際の「情報館」、「こどもミュージアム」の面積変更値に記入誤りがありましたので、上記のとおり訂正します。

## 5. 沿革

昭和 50(1975)年	【歴史】	8月	北九州市立歴史博物館開館 (8/1)
昭和 51(1976)年	【歴史】	1月	豊前修験道・英彦山展
	【自然史】	5月	小学生の発見をきっかけに、山田弾薬庫跡地で世界最古のニシン料魚類化石デ ィプロミスタスが発掘される
	【歴史】	10月	洞海湾の歴史展
	【自然史】	10月	北九州産魚類化石展「北九州市の魚類化石ー化石から見た北九州ー」 主催：北九州市教委・北九州市産魚類化石展示実行委員会
昭和 53(1978)年	【自然史】	4月	戸畑市民会館内に「自然史博物館開設準備室」設置
	【自然史】	10月	マッコウクジラの生の骨が到着
昭和 54(1979)年	【自然史】	1月	「北九州自然史友の会」が発会し、機関誌「わたしたちの自然史」の発行 (1/7)
昭和 55(1980)年	【歴史】	7月	日韓文化交流展ー古代のロマンを求めてー
昭和 56(1981)年	【自然史】	5月	北九州市立自然史博物館が八幡駅ビルの2・3・4階を仮施設として開館 (5/2)
昭和 58(1983)年	【考古】	8月	北九州市立考古博物館開館 九州最初の考古学専門館として小倉北区金田一丁目に開館 (8/1)
	【歴史】	10月	北九州のまつり芸能展
昭和 59(1984)年	【自然史】	9月	友好都市締結5周年記念として、中国大連市の大連自然博物館で「世界の昆虫」 展を開催
	【歴史】	10月	北九州甲冑展ーよろい・かぶとの歴史ー
	【自然史】	12月	響灘沖から巨大珪化木の引き上げ
昭和 60(1985)年	【歴史】	10月	「小倉藩創始 細川家の歴史展」
昭和 61(1986)年	【自然史】	8月	開館5周年記念特別展「中国の動物と恐竜の世界展」
昭和 62(1987)年	【歴史】	10月	わが町の宝「北九州市の指定文化財展」
昭和 63(1988)年	【考古】	8月	開館5周年記念「北九州の中国陶磁展」
平成 2(1990)年	【歴史】	10月	関門の潮流展ー翔けぬけた鎌倉武士たちー
平成 4(1992)年	【自然史】	3月	開館10周年記念出版物として「山田緑地の自然」を発行
平成 5(1993)年	【考古】	4月	考古博物館友の会発足
	【考古】	10月	開館10周年記念「終末期の古墳展」
平成 7(1995)年	【考古】	5月	展示解説ボランティア制度発足
	【歴史】	8月	戦後50周年記念 北九州平和資料展ー戦時下の市民のくらしー
平成 8(1996)年	【自然史】	7月	展示解説ボランティア制度発足
	【総合】	10月	「東田地区文化施設整備構想検討委員会」(委員長 有馬朗人 東京大学名誉教 授)が、「環境」を共通テーマとする自然史、産業科学、環境、歴史の4館か らなるシャイン博物館構想「東田地区文化施設の整備の方向について」を報告
平成 10(1998)年	【考古】	8月	開館15周年記念「西と東の縄文土器展」
平成 11(1999)年	【総合】	6月	(仮称)北九州市立自然史博物館・歴史博物館起工
平成 12(2000)年	【歴史】	10月	伊能忠敬と九州展
平成 13(2001)年	【総合】	3月	(仮称)北九州市立自然史博物館・歴史博物館の建物が竣工
平成 14(2002)年		11月	北九州市立自然史・歴史博物館オープン(小野勇一館長)(11/3) 開館記念特別展「セイスモサウルスとその世界」(11/3ー12/28:56日間)
平成 15(2003)年		3月	開館記念特別展「COME BACKーよみがえれ文化と生きものたちー」(3/1ー4/6:37 日間)
		4月	特別展「ミネラルワールド九州・山口 わたしたちのまわりの鉱物展」(4/26ー6/8:44日 間:25,871人)
		7月	特別展「発見!虫王国」(7/19ー8/31:44日間:79,687人)
		9月	特別展「恐竜時代の生き物たち」(9/19ー10/13:25日間:12,828人)
		10月	特別展「発掘された日本列島2003」(10/26ー11/30:36日間:11,260人)
		12月	企画展「絵で見る植物の世界」(12/6ー12/23:18日間)
平成 16(2004)年		1月	企画展「博物館のお正月」(1/2ー2/1:31日間)

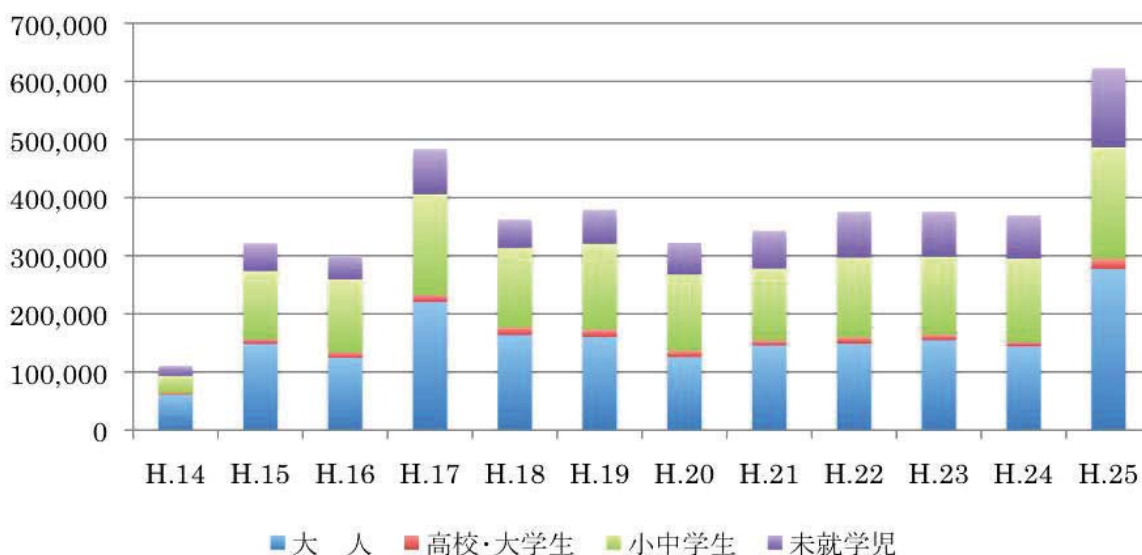
- 3月 企画展「博多祇園山笠展ーまつりにみる福岡の歴史ー」(3/5ー4/11 : 38日間)
- 4月 特別展「葛飾北斎展」(4/23ー5/23 : 31日間 : 14,262人)
- 7月 特別展「からくり・ロボット体験ランド」(7/17ー9/5 : 51日間 : 50,712人)
- 10月 企画展「一片山正信氏の版画に見るー昭和の北九州百景」(10/1ー12/26 : 87日間)
- 企画展「襤褸の世界ー堀切辰一・布のいのち見つめてー」(10/8ー11/28 : 52日間)
- 平成17(2005)年 1月 特別展「古代都市誕生ー飛鳥時代の仏教と国づくりー」(1/2ー2/20 : 50日間 : 11,590人)
- 3月 特別展「なぜ?なに? 動物ワールド」(3/19ー5/8 : 51日間 : 26,638人)
- 7月 特別展「生きもの大集合 世界の両生・爬虫類展」(7/16ー9/4 : 51日間 : 76,623人)
- 10月 企画展「鶏民芸品展ー秋篠宮コレクションー」(10/8ー11/20 : 44日間)
- 入館者100万人達成! (10/26)
- 11月 特別展「大名細川家ー文と武の軌跡ー」(11/18ー12/11 : 24日間 : 3,739人)
- 12月 特別展「恐竜博2005ー恐竜から鳥への進化ー」(12/23ー3/31 : 99日間 : 207,397人)
- 平成18(2006)年 4月 企画展「化石王 三葉虫」(4/29ー5/28 : 30日間)
- 7月 特別展「昆虫ワールド・カップ2006」(7/15ー9/3 : 51日間 : 76,008人)
- 9月 企画展「アイヌ文様の美ー線のいのち、息づくかたちー」(9/23ー11/26 : 65日間)
- 12月 特別展「驚異の地下帝国 始皇帝と彩色兵馬俑展ー司馬遷『史記』の世界ー」
- (12/14ー3/31 : 104日間 : 63,811人)
- 平成19(2007)年 4月 企画展「有明海 干潟を育む生き物と文化ー中尾勘悟写真展ー」(4/15ー5/6 : 22日間)
- 7月 開館5周年記念特別展「世界最大の翼竜展ー恐竜時代の空の支配者ー」
- (7/7ー9/2 : 58日間 : 96,103人)
- 10月 開館5周年記念特別展「修験の歴史と自然ー西日本の山の信仰ー」
- (10/12ー11/11 : 31日間 : 2,580人)
- 12月 特別展「フェアブルにまなぶ」(12/22ー2/11 : 52日間 : 18,658人)
- 平成20(2008)年 3月 入館者200万人達成! (3/22)
- 企画展(開館5周年記念事業)「5年間のあゆみ展」(3/22ー4/6 : 16日間)
- 4月 企画展「絵で見る植物界の多様性 原田英子植物画展」(4/19ー5/11 : 23日間)
- 北九州市・仁川広域市姉妹都市提携20周年記念「近代北九州百年の歩み」
- 7月 於:仁川広域市立博物館 (7/19ー9/21 : 65日間)
- 特別展「シーラカンス展 ブラジルの化石と大陸移動の証人たち」
- (7/12ー8/31 : 51日間 : 56,360人)
- 8月 北九州市・仁川広域市姉妹都市提携20周年記念「開港場仁川の情景」
- 於:いのちのたび博物館 ぼけっとミュージアム (8/2ー10/5 : 65日間)
- 10月 特別展「美しき九州の旅ー「大正広重」初三郎がえがくモダン紀行ー」
- (10/11ー11/30 : 51日間 : 6,659人)
- 平成21(2009)年 1月 特別展「小倉のお殿さまー小笠原家と城下町ー」(1/2ー2/8 : 38日間 : 6,513人)
- 3月 企画展「ひとと海のものごたり」(3/1ー5/10 : 71日間)
- 5月 企画展「自然史友の会って何? 友の会30年のあゆみと活動」(5/23ー6/14 : 23日間)
- 7月 特別展「恐竜ラボ2009ーよみがえれ!恐竜ワールドー」(7/18ー8/31 : 45日間 : 64,628人)
- 9月 特別展「世界遺産ナスカ 地上絵の謎」(9/19ー11/23 : 66日間 : 30,266人)
- 平成22(2010)年 1月 特別展「布のこころ 受け継がれる母の想いとくらしの美」
- (1/2ー2/21 : 51日間 : 6,567人)
- 2月 大連市旅順博物館と友好交流に関する協定を締結 (2/6)
- 3月 特別展「どうぶつ大集合!肉食系?草食系? なにをたべているのかな?」
- (3/20ー5/30 : 72日間 : 28,327人)
- 4月 伊藤明夫館長が就任
- 7月 特別展「昆虫大接近!ーみんなであそぼう・虫たちの森ー」
- (7/17ー9/5 : 51日間 : 71,641人)
- 10月 特別展「禅寺広寿山の名宝ー小倉にひらいた中国文化の華ー」
- (10/9ー11/28 : 51日間 : 4,881人)

- 11月 仁川広域市立博物館および大連市旅順博物館と「東アジア友好博物館に関する合意書」調印 (11/5-7)
- 平成 23(2011)年 1月 特別展「古代メキシコ・オルメカ文明展 マヤへの道」(1/2-3/31 : 89日間 : 22,598人) 入館者 300万人達成! (1/15)
- 2月 入館者 300万人達成記念「ありがとう祭」(2/11-13 : 3日間)
- 4月 特別展「エビとカニのふしぎ 杉浦千里博物画の世界」(4/23-5/31 : 39日間 : 19,297人)
- 7月 特別展「世界の両生類・爬虫類大集合!」(7/16-9/4 : 51日間 : 74,797人)
- 10月 特別展「大連・モダンの風景 旅順博物館所蔵大連古写真展/鉄道展-あじあ号から新幹線へ-」(10/7-12/11 : 66日間 : 11,493人)
- 12月 特別公開「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル」(12/22-12/25 : 4日間 : 11,158人)
- 平成 24(2012)年 1月 特別展「大内文化と北九州 戦国の世に花開く雅の世界」(1/2-2/12 : 42日間 : 4,559人)
- 3月 特別展「アンモナイトのふしぎ-首長竜やモササウルスとの戦い-」(3/10-5/6 : 58日間 : 25,121人)及び「みんなで救った被災標本展」(同期間 : 6,857人)
- 7月 特別展「対決! 恐竜展」(7/14-9/23 : 72日間 : 102,921人)
- 10月 特別展「いのちのたび博物館 10年のあゆみ-とっておきのコレクションが勢ぞろい-」(10/20-12/2 : 44日間 : 30,283人)
- 11月 開館 10周年記念行事 (11/3-4)
- 12月 リニューアル工事閉館 (12/3-翌 3/22)
- 平成 25(2013)年 3月 リニューアルオープン (3/23)
- 4月 北九州市制 50周年記念特別展「北九州市の宝もの」(4/20-6/16 : 58日間 : 30,740人)
- 7月 北九州市制 50周年記念特別展「世界の昆虫展」(7/13-9/1 : 51日間 : 125,805人) 入館者 400万人達成! (7/25)
- 9月 北九州市制 50周年記念特別展「邪馬台国が見える!! 古代日本の原風景」(9/14-11/4 : 52日間 : 20,990人)
- 12月 北九州市制 50周年記念特別展「仁川広域市立博物館・旅順博物館の名品展」(12/21-28, 1/2-2/11 : 49日間 : 24,852人)
- 平成 26(2014)年 3月 特別展「まるごと猫展」(3/15-6/1 : 79日間 : 54,700人) 年間入場者 60万人超達成! (3/31 : 622,701人. 過去 10年間 [H.15-24] の最多は平成 17年度 483,495人で、平均は 363,379人)

## 6. 入館者の状況

	年度	大人	高校・大学生	小中学生	未就学児	年計	累計
入館者 総数 (人)	14	60,946 (55.1%)	2,677 (2.4%)	29,903 (27.0%)	17,096 (15.5%)	110,622 (100%)	162,527
	15	148,376 (46.2%)	7,950 (2.5%)	117,407 (36.5%)	47,692 (14.8%)	321,425 (100%)	483,952
	16	124,591 (41.5%)	9,262 (3.1%)	125,566 (41.8%)	40,644 (13.6%)	300,063 (100%)	784,015
	17	220,645 (45.6%)	11,699 (2.4%)	173,303 (35.9%)	77,848 (16.1%)	483,495 (100%)	1,267,510
	18	163,725 (45.2%)	12,630 (3.5%)	137,387 (37.9%)	48,549 (13.4%)	362,291 (100%)	1,629,801
	19	160,194 (42.2%)	12,771 (3.4%)	147,601 (38.9%)	58,881 (15.5%)	379,447 (100%)	2,009,248
	20	125,898 (39.0%)	10,487 (3.2%)	131,344 (40.7%)	54,997 (17.2%)	322,726 (100%)	2,331,974
	21	145,843 (42.5%)	8,151 (2.4%)	124,106 (36.1%)	65,290 (19.0%)	343,390 (100%)	2,675,364
	22	148,752 (39.6%)	10,516 (2.8%)	137,441 (36.6%)	78,881 (21.0%)	375,590 (100%)	3,050,954
	23	154,803 (41.2%)	8,933 (2.4%)	134,619 (35.8%)	77,299 (20.6%)	375,654 (100%)	3,426,608
	24	144,271 (39.0%)	7,267 (2.0%)	143,409 (38.8%)	74,764 (20.2%)	369,711 (100%)	3,796,319
	25	277,499 (44.6%)	16,837 (2.7%)	191,914 (30.8%)	136,451 (21.9%)	622,701 (100%)	4,419,020

※平成14年度は、11/3～11/10 無料期間 51,905 人を累計に含む。  
 ※平成24年度は、12/3～3/22 が改装工事で休館。



\*このほか、23～28 ページに記しているように各種の教育普及活動を実施している。普及講座だけでも2,400名以上の方達に利用していただいている。これら講座等の参加者は上記入館者数には含まれていない。

## 7. 視察受入状況

### 平成 25 年度 視察訪問受入れ状況

No.	月日	申請者	訪問者・団体	人数
1	4月5日	保健福祉局総務課	南九州市、北九州市総務課員ほか	4
2	8月1日	福島県相馬市議会議長	相馬市産業建設常任委員会	7
3	8月5日	総務企画局アジア交流課	釜山文化財団国際文化交流チーム	41
4	8月8日	美術館	博物館実習生ほか	11
5	9月17日	市制 50 周年事業推進室	日韓スポーツ交流事業韓国選手団	200
6	10月11日	西日本産業貿易コンベンション協会	タイ、台湾旅行会社ほか	10
7	10月19日	国立夜須高原青少年自然の家	タイ王国高校生ほか	22
8	10月29日	広報室報道課	出版社	10
9	10月29日	宮崎科学技術館	学芸課主事	1
10	11月14日	産業経済局観光・コンベンション課	韓国旅行エージェントほか	11
11	11月15日	産業経済局観光・コンベンション課	大都市観光協議会総会参加者	19
12	12月13日	海の中道海洋生態科学館	アジア動物園教育者会議参加者	60
13	1月18日	宮崎文化振興協会	同職員	1
14	1月24日	子育てふれあい交流プラザ	同職員	2
15	1月26日	広島市市民局文化振興課	広島市議会議員ほか	2
16	2月4日	静岡県企画広報部	静岡県議会議員ほか	15
17	2月21日	産業経済局観光・コンベンション課	中国上海旅行関係者	6
18	2月23日	産業経済局観光・コンベンション課	台湾教育旅行関係者	14
19	2月23日	環境局環境学習課	環境首都検定表彰関係者	80
20	2月25日	産業経済局にぎわい推進課	沖縄市内旅行社	8
21	3月5日	産業経済局観光・コンベンション課	東京・名古屋・大阪等旅行会社	11
22	3月24日	長野市立博物館	同館学芸員	2
23	3月27日	日本国際協力センター	カンボジア訪日団	25

合計 562



## 8. 報道一覧

### (1) 平成 25 年度博物館関係報道状況記録 (新聞)

No.	掲載月日	新聞社名	内 容
1	4月5日	西日本	「かまれそう 全長 12.8m」
2	4月19日	読売	「改装から1か月足らず 入館者5万人を突破」
3	4月21日	朝日	「歴史や産業 北九州を学ぶ 市制50年企画 八幡東で 宝もの展」
4	5月2日	西日本	「北九州市のお宝ずらり いのちのたび博物館」
5	5月10日	西日本	「小倉祇園太鼓 かつての象徴 幻の山鉾5基一堂に」
6	6月1日	毎日	「墨のような黒バッタ」
7	6月4日	毎日	「相島の猫 人が減ると困るニャー」
8	6月16日	読売	「若松で作兵衛記録画展」
9	6月22日	朝日	「江戸・明治の山車展示」
10	6月23日	西日本	「いのちのたび博物館 改装3ヶ月 恐竜が充実 入館者倍増」
11	7月12日	毎日	「いのちのたびの虫祭り 世界の昆虫展 あす開幕」
12	7月13日	毎日	「世界の昆虫展 生きている虫も きょう開幕」
13	7月17日	毎日	「目の前で昆虫標本 学芸員が作製実演」
14	7月20日	読売	「小倉祇園太鼓が開幕 山車5台を展示」
15	7月20日	朝日	「歴史語る山車5基一堂に」
16	7月20日	毎日	「小さな命見えるかな? 5ミリ未満の水生昆虫 魚部展示」
17	7月23日	西日本	「世界最大カブトや標本2万点 世界の昆虫展」
18	7月24日	毎日	「夏休みの自由研究 役立つ企画展とイベント」
19	7月25日	毎日	「遊び心満載 世界の昆虫展」
20	7月26日	西日本	「入館400万人達成 開館から10年9ヶ月」
21	7月26日	毎日	「進化続けて400万人突破」
22	7月27日	毎日	「世界最大のカブトやクワガタ 世界の昆虫展」
23	7月31日	毎日	「歴史友の会会員募集」
24	8月8日	赤旗	「まなざし真剣 標本作り学ぶ」
25	8月10日	毎日	「世界の昆虫展入場5万人突破」
26	8月13日	毎日	「擬態の名手 コノハムシ」世界の昆虫展展示品紹介
27	8月14日	西日本	「北九州の空襲資料など展示」
28	8月14日	毎日	「微小種キボシチビコツブゲンゴロウ」世界の昆虫展展示品紹介
29	8月14日	毎日	「圧巻! どこを見ても虫」
30	8月15日	読売	「北九州空襲の歴史紹介」
31	8月15日	朝日	「惨禍の記憶忘れない 北九州へ13回の空襲 記録画や資料」
32	8月15日	毎日	「世界最大ヘラクレスオオカブトムシ」世界の昆虫展展示品紹介
33	8月16日	西日本	「終戦記念日 北九州市民は…」北九州の空襲展
34	8月16日	毎日	「毒虫 ゴライアスバードイーター」世界の昆虫展展示品紹介
35	8月17日	毎日	「壁埋め尽くす貴重な標本」世界の昆虫展展示品紹介

36	8月23日	読売	「セアカゴケグモ若松で見つかる 北九州市内で初めて」
37	8月23日	読売	「体長5ミリ未満 水生昆虫展示 北九州高魚部」
38	8月24日	朝日	「魚部 昆虫展に展示コーナー」
39	8月24日	毎日	「世界の昆虫展 10万人突破」
40	8月31日	朝日	「アゲハチョウ水分補給中」 下村学芸員コメント
41	8月31日	西日本	「涼しいのがお好き 猛暑逃れ人々は...」
42	9月5日	朝日	「猛暑を決算 北九州地方の夏振り返る」 昆虫展を紹介
43	9月14日	毎日	「記者有情 昆虫展で」
44	9月15日	西日本	「九州と畿内権力の変遷紹介 邪馬台国特別展始まる」
45	9月15日	毎日	「弥生・古墳時代の暮らし風土紹介 古代日本の原風景展」
46	9月20日	西日本	「弥生・古墳時代の古代史 いのちのたび博物館、特別展から」
47	9月28日	読売	「出土品で古代国家歩みたどる いのちのたび博物館で特別展」
48	10月6日	毎日	「古代火おこし体験 不思議な仕組み学ぶ」
49	11月5日	西日本	「線刻画は魔除けの役人、方相氏か 北九州・城野遺跡」
50	11月27日	朝日	「恐竜も聴け 一夜のオペラの旅」
51	11月29日	読売	「恐竜に囲まれオペラ公演 地球の歴史感じて音楽を」
52	11月29日	西日本	「恐竜と あす オペラを聴こう」
53	12月3日	毎日	「恐竜並ぶ博物館でオペラの名曲披露」
54	12月12日	西日本	「いのちのたび博物館来館者数過去最高 今週末にも50万人」
55	12月12日	読売	「今年度来館者50万人達成へ」
56	12月12日	朝日	「いのちのたび博物館年間入場初の50万人へ」
57	12月15日	朝日	「いのちのたび博物館今年度入館50万人を達成」
58	12月15日	読売	「いのちのたび博物館 年間の来館者数初めて50万人突破」
59	12月16日	西日本	「いのちのたび博物館 本年度来館者50万人達成で式典」
60	12月22日	毎日	「国宝級の魅力82点 仁川と大連 博物館名品展」
61	12月27日	西日本	「恐竜すすはらいを実施」
62	12月28日	読売	「恐竜標本すすはらい 小学生12人が参加」
63	12月29日	毎日	「恐竜骨格標本も 迎春準備が整う」
64	1月4日	西日本	「いのちのたび博物館 消防訓練を実施」
65	2月4日	朝日	「中韓2博物館の所蔵品一堂 知ろう東アジア交流史」
66	2月4日	西日本	「消防訓練を実施 博物館」
67	2月17日	毎日	「いのちのたび で感動を：大橋智之さん」
68	2月23日	毎日	「まるごと猫展プレイベント：猫の顔ペイント」
69	2月27日	毎日	「まるごと猫展 来月15日から」
70	2月28日	西日本	「ロシアの隕石も展示 世界各地から18点」
71	3月4日	西日本	「黒崎宿の歴史 昔の資料で紹介」
72	3月14日	毎日	「北九州ジオパーク構想 地質遺産巡り3億年の旅」
73	3月14日	毎日	「まるごと猫展 あす開幕 6月1日まで」
74	3月15日	毎日	「ニャーからガオーまで まるごと猫展 北九州で開幕」

75	3月18日	朝日	「珍客リュウグウノツカイ、若松に出現」
76	3月18日	西日本	「若松の海岸に珍客 リュウグウノツカイ見つかる」
77	3月20日	朝日	「リュウグウノツカイ また若松参上」
78	3月21日	西日本	「若松沖にまた幻の深海魚 リュウグウノツカイ」
79	3月22日	毎日	「いのちのたび博物館 13年度 60万人突破 過去最高」
80	3月22日	読売	「いのちのたび博物館 年60万人 初の突破」
81	3月22日	西日本	「入館者初の60万人 いのちのたび博物館 改装、特別展が奏功」
82	3月27日	毎日	「多様な猫アート満載」
83	3月31日	毎日	「猫の魅力を紹介 マニアトーク」

\* 西日本新聞連載 「おもしろ発見 いのちのたび博物館」

No.	掲載月日	タイトル
1	4月5日	〈26〉阿蘇4火砕流堆積物 太古の巨大噴火示す
2	4月12日	〈27〉レアアース 濃集の仕組みが鍵に
3	4月19日	〈28〉宝石の色 微量元素が決め手に
4	4月26日	〈29〉魚の寄生虫 害を与えないものも
5	5月3日	〈30〉標本採集 底引き網使うことも
6	5月10日	〈31〉生物の新種発見 持ち帰った博物館で
7	5月17日	〈32〉北九州のジオの恵み 産業に活用し、景観も
8	5月24日	〈33〉若松北海岸の天然記念物 地球環境変遷の証拠
9	5月31日	〈34〉皿倉山と景観 「大地の恵み」伝える
10	6月7日	〈35〉思い出の動物 北九州を見守り続け
11	6月14日	〈36〉クロツラヘラサギ 命おびやかす釣り糸
12	6月21日	〈37〉ズグロカモメ 曾根干潟にも渡来する
13	6月28日	〈38〉埋められた青銅器 祭りの象徴に使用か
14	7月12日	〈39〉「三種の神器」の起源 弥生時代の北部九州に
15	7月19日	〈40〉謹念寺の菩薩像 九州最古級の木造彫刻
16	7月26日	〈41〉俊寛と小寺氏 官兵衛とも縁がある
17	8月2日	〈42〉小倉鋳物師の活躍 琉球国でも梵鐘製作
18	8月9日	〈43〉黒田長政の陰謀 脇差しが歴史伝える
19	8月16日	〈44〉官兵衛の九州上陸 北九州の戦いで活躍
20	8月23日	〈45〉黒田二十四騎 神様として信仰集める
21	8月30日	〈46〉日本最古の蓮糸織 亡き夫の菩提を弔う
22	9月6日	〈47〉高木豊水 小倉藩のお抱え絵師
23	9月13日	〈48〉桜田門外の変の情報 小倉商人が薩摩へ伝達
24	9月20日	〈49〉小倉戦争の女武者 武勇伝 軍記で広まる
25	9月27日	〈50〉小倉織 幻の布よみがえる
26	10月4日	〈51〉官営八幡製鐵所 近代製鉄のはじまり
27	10月11日	〈52〉安川敬一郎日記 地方企業家が東奔西走
28	10月18日	〈53〉安川家のコレクション 実業家の美術品蒐集

29	10月25日	〈54〉 上野海運ビル 建築家保岡勝也の設計
30	11月1日	〈55〉 発見された「満鉄写真」 旅順博物館に伝わる
31	11月8日	〈56〉 銘菓「鶴の子」 久女も好んだ小倉名物
32	11月15日	〈57〉 アマチュア写真家 大正の小倉の姿を今に
33	11月22日	〈58〉 豊前修験と豊前神楽 山岳仏教の地ならではの
34	11月29日	〈59〉 歴博開館と山本作兵衛 最大の炭鉱記録画誕生

## (2) 平成24年度博物館関係報道状況記録 (TV・ラジオ)

No.	報道月日	報道社名	番組名など	内 容
1	4月15日	テレビ西日本 及び ㈱VSQ	情報番組「タマリバ」中継	リニューアル及び「北九州市の宝もの」展の紹介
2	4月22日	RKB 毎日放送	ローカルニュース	「北九州市の宝もの」展 (23日朝も)
3	4月23日	NHK 北九州	ニュースブリッジ北九州	リニューアル及び「北九州市の宝もの」展紹介
4	5月6日	KBC 朝日放送	アサデス	ガシャモクについて
5	5月17日	NHK	18:20からのニュース	バラの撮影
6	5月28日	テレビ西日本	マニアマニエラ	「Walking with Dinosaurus」特集
7	6月4日	J:COM	ニュース55北九州	「北九州市の宝もの」展
8	6月7日	RKB ラジオ	開店！ウメ子食堂	両生類は爬虫類の絶滅危惧種について
9	6月19日	KBC 朝日放送	アサデス	鶴屋・原田社長寄贈化石 アンモナイト
10	7月25日	KBC 朝日放送	KBC ニュース 14:00～ KBC ニュースピア 18:26～	400万人達成記念式典 夏休みの自由研究
11	7月25日	RKB 毎日放送	RKB ニュース 16:53～ RKB 『今日感 NEWS』 18:15～	400万人達成記念式典 昆虫展観覧風景含む
12	8月2日	テレビ西日本	ももち浜ストア	週末遊んじゃおう！
13	8月3日	TVQ 九州放送	土曜の夜は！おとななテレビ	この夏、家族におすすめの格安&お得スポットを紹介
14	8月22日	NHK	18:25 ローカルニュース	北九州市の空襲
15	8月23日	RKB ラジオ	開店！ウメ子食堂	しっぽが2つあるカナヘビについて
16	9月20日	BS-TBS	「BS-TBS 報道部」	「水素特集」 博物館の館内の様子
17	10月19日	テレビ朝日	SmaSTATION！！	「通が選ぶ人気の街 最新混雑スポットランキング ～福岡編～」
18	10月21日	テレビ西日本	TNC スーパーニュース	サル被害
19	10月26日	広島 FM	「時の旅人」番組ブログ・ 個人ブログ	リニューアル：恐竜に関する展示
20	11月1日	クロス FM	「北九州トークウィズユー～メモリアルストーリー～」	博物館誕生のエピソードなど
21	1月15日	RKB 毎日放送	ニュース	ミサゴ標本の撮影

## 9. 特別展

### (1) 北九州市制 50 周年記念「北九州市の宝もの」

**期 間**：平成 25 年 4 月 20 日（土）～平成 25 年 6 月 16 日（日） 58 日間

**会 場**：ギャラリー館

**入 場 料**：無 料

**観覧者数**：30,740 人

**担当学芸員**：日比野利信、馬場 稔

**主 催**：北九州市立いのちのたび博物館（自然史・歴史博物館）

**後 援**：福岡県教育委員会、北九州市教育委員会、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、NHK 北九州放送局、RKB 毎日放送、FBS 福岡放送、九州朝日放送、TVQ 九州放送、TNC テレビ西日本

**出品協力**：到津八幡神社、春日神社、吉祥寺、謹念寺（北方不動 宝明院）、宗光寺、大興善寺、福聚寺、遍照院（神社・寺院）、出光興産株式会社、新日鐵住金株式会社、株式会社ゼンリン、TOTO 株式会社、日本水産株式会社、株式会社安川電機、若築建設株式会社（企業）

#### 概 要

平成 25 年 2 月の北九州市制施行 50 周年を記念して、北九州市の 50 年のあゆみを振り返り、今日の北九州市のルーツを明らかにするとともに、北九州市の誇るべき自然や文化を紹介した。

具体的には、①市民の方々から募集した写真により、本市のあゆみと暮らしやまちなみの変化を紹介した（写真にみる北九州市のあゆみ）。②巨大な石炭塊、私立明治専門学校の鉱物コレクション、天然記念物、化石や希少種標本、到津遊園で飼育されていた動物の標本などを展示し、本市のゆたかな自然環境を紹介した（北九州市のゆたかな自然）。③小倉藩主小笠原家と福岡藩主黒田家に関わる武具や肖像画、初公開の仏像など、独自の歴史や文化を証明する指定文化財を展示した（北九州市の歴史と文化財）。④市内の企業が所蔵する歴史的資料を紹介し、「ものづくりのまち」としての特質を示した（ものづくりの技と心）。

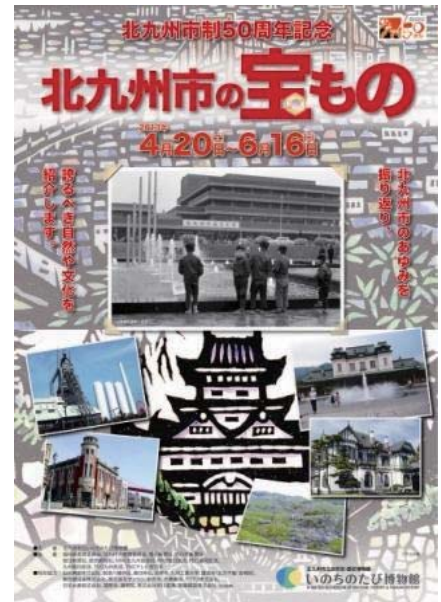
**図 録**：A4 判、カラー64 頁、1,000 部を刊行した。

**関連事業**：記念講演会と学芸員連続講座を実施した。

記念講演会 4 月 20 日「江戸時代の大名と老中制」（東京大学・山本博文氏）

4 月 27 日「恐竜の気持ちになってたどるいのちのたび」（国立科学博物館・真鍋真氏）

学芸員連続講座 5 月 19 日、26 日、6 月 2 日、9 日の 4 回実施。



写真にみる北九州市のあゆみ



北九州市のゆたかな自然

（日比野利信・馬場 稔）

## (2) 北九州市制 50 周年記念「世界の昆虫展」

期 間：平成 25 年 7 月 13 日（土）～平成 25 年 9 月 1 日（日） 51 日間

会 場：ギャラリー館、ガイド館

入 場 料：大人 700 円（団体 560 円）、高・大生 400 円（同 320 円）、小・中生 300 円（同 240 円）、未就学児無料

観覧者数：125,805 名

担当学芸員：下村通誉、蓑島悠介

主 催：北九州市立いのちのたび博物館（自然史・歴史博物館）、  
毎日新聞社、RKB 毎日放送

後 援：福岡県教育委員会、北九州市教育委員会、  
福岡市教育委員会、NHK 北九州放送局

特別協力：福岡県立北九州高等学校魚部、岐阜大学応用生物科学  
部川窪研究室

特別協賛：全労済福岡県本部

協 賛：公益財団法人福岡文化財団

協 力：ビッグベアーズフーズサービス

### 概 要

昆虫のさまざまな形態、模様、大きさをご覧いただき、圧倒的な数の標本と生きた虫の展示で多様性を実感していただくことを目的とした特別展。特別展内で北九州高等学校魚部らによる福岡県の微小な水生昆虫を生きた状態で展示した大微小種展を開催。海野和男氏の昆虫の成長過程や戦いの映像、川窪伸光氏の昆虫の飛翔の映像を上映。夏の特別展では初めて観覧者数 12 万人を達成した。

### 主な展示標本

飯沢喜七氏制作の巨大昆虫模型 8 点、生きた微小な水生昆虫 50 種（魚部、井上大輔氏、中島淳氏の協力による）、日本の大型水生昆虫 10 種、田坂義雄・義有氏収集の中国撫順の琥珀 85 点、世界の昆虫標本 2 万点以上（森下和彦氏収集のマダラチョウ類、横地隆氏収集のイナズマチョウ類、川崎裕一氏収集のウスバアゲハ類とタイの絶滅したシボリアゲハ、磯貝島根氏収集のクワガタムシ類）、岡野喜久磨氏寄贈図書、生きたタランチュラ、サソリなど 25 種、生きたカブトムシ、クワガタムシ 13 種、生きた擬態昆虫 9 種。

### 関連事業

期間中の毎週火曜日に学芸員による昆虫標本作成の実演を不定期にシーダーによる昆虫折り紙教室を行った。会場内には昆虫クイズラリー、スタンプラリー、ぬり絵、記念写真コーナーにカブトムシとクワガタムシのかぶりものを設置した。7 月 20 日（土）には海野和男氏の昆虫標本撮影テクニックの講座、8 月 2 日（金）と 9 日（金）にはナイトミュージアム、8 月 24 日（土）には福岡ハイドン弦楽四重奏団による昆虫ファミリーコンサートを行った。（下村通誉・蓑島悠介）



### (3) 北九州市制 50 周年記念「邪馬台国が見える!! 古代日本の原風景」

**期 間**：平成 25 年 9 月 14 日（土）～平成 25 年 11 月 4 日（月・祝） 52 日間

**会 場**：ギャラリー館

**入 場 料**：大人 700 円(団体 560 円)、高・大生 400 円(同 320 円)、  
小・中生 300 円(同 240 円)、未就学児無料

**観覧者数**：20,990 人

**担当学芸員**：松井和幸、中西義昌

**主 催**：北九州市立いのちのたび博物館（自然史・歴史博物館）

**後 援**：福岡県教育委員会、毎日新聞社

**出品協力**：奈良県立考古学研究所、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館、文化庁、東京国立博物館、九州国立博物館、田原本町教育委員会、大阪府立弥生博物館、神戸市立博物館、行橋市歴史資料館、宇原神社、飯塚市歴史資料館、福津市役所、福岡市埋蔵文化財センター、伊都国歴史博物館、佐賀県教育庁、佐賀県立博物館・美術館、(公財)北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室



#### 概 要

本展覧会は、今日の日本文化の基礎が形成されたと考えられる弥生時代や古墳時代を紹介した展示である。中国大陸や朝鮮半島からの新しい文化を受け入れて大きく変化し、農耕社会に入った日本列島に、やがてクニと言えるような地域的なまとまりが出来、さらに大きな集団として再編され、世界にも類を見ないような巨大前方後円墳の被葬者が出現し、やがて古代国家の成立を見るようになった。この間約 1,000 年間の時間が流れている。本特別展は、こうしたいわゆる日本列島の古代国家成立前夜の社会に焦点を当てた特別展である。

北部九州の主要遺跡とヤマトを中心とする主要遺跡から国宝・重要文化財 26 件を含む約 150 点の出土品を対比して展示し、邪馬台国問題にも一石を投じた内容になっている。

**図 録**：A4 判、カラー37 頁、1,000 部を刊行した。

**関連事業**：記念講演会と古代火おこし体験を実施した。

記念講演会 9 月 14 日「考古学から見た戦国秦漢時代と弥生時代の文化」（中国社会科学院考古研究所副所長・白雲翔氏）

10 月 26 日「弥生・古墳時代の朝鮮半島と日本」（福岡大学教授・武末純一氏）

その他 古代の火おこし体験をほぼ毎土曜日ごとに午前・午後の 2 回実施した。



会場風景（埴輪の展示）



古代の火おこし体験風景

(松井和幸)

#### (4) 北九州市制 50 周年記念「仁川広域市立博物館・旅順博物館の名品展」

**期 間**：平成 25 年 12 月 21 日（土）～平成 26 年 2 月 11 日（火・祝） 49 日間（12/29～1/1 は休館）

**会 場**：ギャラリー館

**入 場 料**：常設展入場料

**観覧者数**：24,852 人

**主 催**：東アジア友好博物館交流事業実行委員会

**特別協力**：大韓民国仁川広域市立博物館、中華人民共和国大連市旅順博物館

**後 援**：駐福岡大韓民国総領事館、中華人民共和国駐福岡総領事館、福岡県教育委員会、北九州市教育委員会、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、讀賣新聞社、FBS 福岡放送、KBC 九州朝日放送、NHK 北九州放送局、RKB 毎日放送、TNC テレビ西日本、TVQ 九州放送

**担当学芸員**：松井和幸、日比野利信、上野晶子、富岡優子、守友 隆、中西義昌

#### 概 要

北九州市制 50 周年を記念して、「友好博物館」である韓国の仁川広域市立博物館と中国大連市の旅順博物館が所蔵する青銅鏡・陶磁器・絵画など 82 点の名品を紹介した。日本の歴史や文化を考えると、中国や朝鮮半島との関係は決定的に重要であることから、貴重な名品の数々を通して、両国の歴史や文化に対する理解を深め、日本の歴史や文化を再認識していただく機会とした。

**図 録**：A4 判カラー48 頁、600 冊を刊行した。

他に、こども用リーフレット 長 A3 判・観音開き、3,000 部を作成した。

#### 関連事業

記念講演会のほか韓国・中国の伝統的文化に触れるさまざまな体験イベントを実施した。

記念講演会 12/21 仁川広域市立博物館、旅順博物館の両館長による両市・両館の紹介

韓国・中国のお正月体験 1/5、1/12、1/19、1/26、2/2 2/9 伝統的衣装試着、両国の昔の遊び  
小正月「テボルム」行事体験 1/17～2/11

餅つき大会 1/4、水墨画実演 1/12、サムルノリ実演・練り歩き 1/19

ポジャギ製作体験 1/25、韓国の雑煮試食 1/26、中国の餃子試食 2/2



旅順博物館の名品（明清絵画）



仁川広域市立博物館の名品（平生図屏風）

（日比野利信）



## (5)「まるごと猫展」

**期 間**：平成 26 年 3 月 15 日（土）～6 月 1 日（日） 79 日間  
（次年度への継続事業）

**会 場**：ギャラリー館

**入 場 料**：大人 700 円（団体 560 円）、高・大生 400 円（同 320 円）、  
小・中生 300 円（同 240 円）、未就学児無料

**観覧者数**：54,700 名（次年度終了時点）

**担当学芸員**：山根明弘

**主 催**：北九州市立いのちのたび博物館、毎日新聞社、

**後 援**：福岡県教育委員会、NHK 北九州放送局、九州旅客鉄道株  
式会社、公益社団法人北九州市獣医師会

**協 力**：則武広和、黒住隆子(BAOBAB)、大久保京(書肆 吾輩堂)、  
群馬大学総合情報メディアセンター、永尾まる(少年画報社「ね  
こパンチ」)、加藤豊(レフティレックス)、木村道子(工房・海猫  
舎)、原口緑郎・美智代(猫新聞社)、長崎の町ねこ調査隊塾、北  
九州市立美術館、福岡県立八幡高等学校、落合延孝、環境省対馬野生生物保護センター、環境省  
西表野生生物保護センター、竹富町教育委員会、琉球大学哺乳類生態研究室、産業医科大学、和  
田直己(山口大学共同獣医学部生体システム科学)、公益財団法人福岡文化財団



### 概 要

「猫」は人と暮らし始めて約 1 万年もの時間が経過したにも関わらず、野生のハンターとしての身体能力を、ほぼ完全な状態で持ち続けている。人は、このような猫の姿に惹かれ、共に生活するなかで、招き猫をはじめとする様々な猫文化、さらには猫をモチーフとした絵画などの芸術作品までもを生み出してきた。本展では、生物学的、文化的、芸術的、そして社会的な側面から猫に焦点をあてた展示を行った。入場者数はこれまでの春の特別展記録を更新し、また、大人の入場者の割合が 7 割を超え、これまでにない新たな方向性を示唆する特別展となった。

### 主な展示標本

優れたハンターとしての生物学的な側面を、ライオン、トラ、チーター、ジャガーなどのネコ科動物の剥製標本や骨格標本の展示によって解説した。また、我が国の絶滅危惧種であるイリオモテヤマネコやツシマヤマネコの剥製標本の展示も行い、保全活動等の紹介も行った。そして、猫カルチャー・猫アートのコーナーでは、人と猫との関係の深さを物語る幅広いジャンルの資料を展示した。例えば、全国各地の約 170 体の招き猫をはじめ、猫がデザインされたレコードジャケット（ネコード）、明治大正期の猫柄のマッチラベル、新田岩松家の殿様の猫絵、人気の猫漫画の原画、北九州市立美術館より借用した歌川国芳の浮世絵等、蒐集家からの借用品を中心とした約 600 点もの資料を展示した。さらには、現在、市民レベルで行われている長崎の町ねこ調査、そして当館学芸員によるノラネコ研究の紹介など、今を生きる猫たちの素顔にも迫ってみた。

### 関連事業

常設展では、動物写真家の岩合光昭氏の写真展「ねこ歩き」も同時開催した。イベントでは、市民からの愛猫の写真を展示した「みんなの猫ギャラリー」、ライオンの剥製に乗れる「らいおんにライドオン!」、「岩合光昭氏のギャラリートーク&サイン会」、蒐集家による「ねこマニアトーク」等を実施した。  
(山根明弘)



## 10. ぽけっとミュージアム：企画展、テーマ展等

### (1) 企画展「国指定重要無形民俗文化財 戸畑祇園大山笠」

**期間**：平成25年3月23日（土）～7月29日（月）

（前年度からの継続事業）

**会場**：歴史ぽけっとミュージアム No.9～11

**入場料**：常設展入場料で観覧可能

#### 概要

戸畑祇園大山笠は昼の「幟山笠」が夜の「提灯山笠」に変わる国の重要無形民俗文化財で、北九州市を代表する祭りとして全国的にも知られている。今回の展示では、県指定有形民俗文化財に指定されている東大山笠と西大山笠の幟山笠の切幕と水引幕を展示した。幕に描かれた題材は、「俵藤太 むかで退治の図」「藤原房前大臣の生母である海土が龍宮から玉を取り戻すの図」「文禄・慶長の役出陣の図」「神功皇后 三韓出兵の図」「賤ヶ岳の七本槍の図」「素戔鳴尊の八岐大蛇退治の図」で、いずれも見事な刺繍で表現されている。これらの題材は、それぞれ物語や唱歌などで語り継がれてきた登場人物であり、人びとにとって憧れの存在であったことがうかがえる。（上野晶子）



### (2) 企画展「北九州街道物語1 小倉城下町」

**期間**：平成25年8月3日（土）～10月28日（月）

**会場**：ぽけっとミュージアム No.9・10・11

**入場料**：常設展入場料で観覧可能

#### 概要

江戸時代、北九州市域にあった主要な街道と宿場をテーマとした企画展の第一弾。

No.9では、江戸時代、九州第一の玄関口、長崎街道を始めとする九州諸街道の起点として重要な役割を果たした小倉を「西国内海名所一覧」、「西国筋図巻」など絵図・古地図などから、No.10では江戸時代の小倉城と城下町の姿と賑わい、人々の暮らしを「豊国名所」・「小倉藩土屋敷絵図」などの図像資料、発掘調査の成果などから紹介した。

No.11では、数々の特産品のなかでも特に小倉の代名詞となった小倉織について、現存する縞帳や袴類を展示して昭和初期頃まで続いた小倉織の歴史を紹介するとともに、小倉織協議会の作品を中心に、現代によみがえった小倉織の姿を展示した。（守友 隆、上野晶子）



### (3) 企画展「北九州街道物語2 黒崎宿」

**期間**：平成25年11月2日（土）～平成26年3月9日（日）

**会場**：ぽけっとミュージアム No.9

**入場料**：常設展入場料で観覧可能

#### 概要

江戸時代、北九州市域にあった主要な街道と宿場をテーマとした企画展の第二弾。

長崎街道の宿場として栄えた黒崎宿の歴史とその役割を明らかにすることを目的とした企画展。特に幕末という時代に焦点をあて、黒崎宿庄屋・船庄屋、諸藩の御用達を務め、勤王の志士や三条実美ら五卿と交流があった桜屋（宇都宮家）の文化財や、幕末期の当主宇都宮（古海）正顕の活動を紹介した。



（守友 隆）

#### (4) 企画展「さぐってみよう昔の暮らし」

**期 間**：平成 25 年 11 月 4 日（月・祝）～平成 26 年 3 月 9 日（日）

**会 場**：歴史ぽけっとミュージアム No. 10, 11

**入場料**：常設展入場料で観覧可能

##### 概 要

小学校社会科単元「さぐってみよう昔の暮らし」に即し、地域の人々の生活について、古い道具やそれを使っていたころの暮らしの様子についての展示を行った。No. 10 では、当館が所蔵する古布コレクション「堀切辰一コレクション 襪褌」の中から「消えてゆく着物」をテーマに、めまぐるしい社会変化の中で変化した衣生活を紹介した。No. 11 では、明治から昭和にかけての昔の道具類を展示した。また、小学 3 年生の社会科単元への活用をふまえ、現在の道具と比べたクイズパネルなどを設置し、昔の人の苦勞・知恵・工夫を考えるきっかけ作りを行った。



(上野晶子)

#### (5) テーマ展「北九州の空襲」

**期 間**：平成 25 年 7 月 1 日（月）～平成 26 年 6 月 5 日（木）

(次年度への継続事業)

**会 場**：テーマ館「明治時代以降の北九州」

**入場料**：常設展入場料で観覧可能

##### 概 要

歩兵第 14 聯隊や第 12 師団司令部、陸軍造兵廠が小倉に置かれ、出征や国防の拠点となり、八幡製鐵所を中心とする重工業が軍事面でも大きな役割を果たした北九州は「軍都」としての性格を多分に有していた。それゆえに、北九州は最初の本格的な本土空襲を受け、小倉は原子爆弾の投下予定地に選定された。本展では北九州空襲をえがいた油彩画の大作などを展示して、空襲の実像を明らかにした。



(日比野利信)

後藤禎三「北九州 8. 20 対空戦の図」1945 年

#### (6) 自然史展示

**期 間**：継続中

**会 場**：ぽけっとミュージアム No. 1～8

##### テーマ

ぽけっとミュージアム No. 1：地球と生命

ぽけっとミュージアム No. 2：細胞のひみつ

ぽけっとミュージアム No. 3：大連市との交流

ぽけっとミュージアム No. 4：アンモナイト

ぽけっとミュージアム No. 5：世界の海の貝

ぽけっとミュージアム No. 6：カエルとサンショウウオ

ぽけっとミュージアム No. 7：昆虫の世界

ぽけっとミュージアム No. 8：きたきゅうしゅうの多様な大地

ぽけっとミュージアム No. 8：地震のしくみ

## 1 1. その他の事業

### (1) 東アジア友好博物館交流事業

当館は北九州市の姉妹都市の韓国・仁川広域市の仁川広域市立博物館、友好都市の中国・大連市の旅順博物館と「東アジア友好博物館に関する合意書」を結び（平成22年11月5日）、交流事業を行っている。平成25年度は第5回の実務者会議を平成25年8月8日に、第4回の館長会議を12月20日に北九州市で開催した。また第2回の巡回企画展として当館が企画した「北九州・工業都市の風景」を仁川で10月16日から11月10日まで、旅順で平成26年1月21日から2月16日までそれぞれ開催した。さらに北九州市制50周年記念展として「仁川広域市立博物館・旅順博物館の名品展」を平成25年12月21日～26年2月11日まで開催した（名品展については18頁参照）。

（日比野利信）



巡回展（仁川広域市立博物館会場）



巡回展（旅順博物館会場）

### (2) ジオパーク推進事業

北九州市は、当該年度より日本ジオパーク認定に向けた取り組みを開始し、博物館においてもその取り組みを本格化させた。

主要事業と経過

- 1) 日本ジオパークネットワーク準会員登録：  
日本ジオパーク認定に向けた準備（10月18日）
- 2) 北九州ジオパーク推進連絡会（庁内調整会議）の実施：  
（5月31日、11月20日）
- 3) ジオパーク普及講座の実施：  
講演会・室内講座（3回実施）  
野外観察会（ジオツアー、ジオハイキング：9回実施、雨天中止1回）  
参加者296名
- 4) 解説板の設置：2ヶ所（若松区遠見ヶ鼻、脇田）
- 5) ジオパーク活動周知用パンフレットの作成
- 6) ジオパーク活動周知用ホームページ原案の作成
- 7) 関連活動
  - ・ジオパーク公開プレゼンテーションへの参加（5月20日～21日）
  - ・香港世界ジオパーク関係者との協議（6月14日）
  - ・第5回九州ジオパーク連絡会への参加（2月24日～2月25日）
  - ・おおいたジオ国際フォーラムへの参加（2月25日～2月26日）



（太田泰弘、真鍋 徹、馬場 稔）

## 12. 教育普及活動

### (1) 博物館セカンドスクール事業

博物館が第2の学校(教室)として、子どもたちの来館機会を創出し、新しい発見や感動を胸に理科・社会科への学習意欲を持たせる仕組みづくりを行うため、

- (1) 博物館への誘致事業
- (2) 学校教育支援事業
- (3) 家庭教育支援事業

の3つの柱をかかげ、学校教育現場と博物館との結びつきを強めるための事業。

#### 1) 博物館への誘致事業

- 博物館への誘致活動  
修学旅行等の団体客を誘致するため学校へのガイダンスビデオ、パンフレット類の送付及び旅行会社へのPR活動
- 情報発信による博物館利用の案内
  - ・情報誌「いのちのたび」を月1回、保育所(園)・幼稚園向けの情報誌を年2回発行
  - ・博物館ホームページ、市政だより等の活用

#### 2) 学校教育支援事業

- 博物館活用資料の整備  
各種ガイドブック、ワークシート、スタンプラリーシート、体験活動プログラム資料など
- 体験学習プログラムの提供  
化石レプリカづくり、ペットボトル顕微鏡づくり、化石発掘体験、勾玉づくり
- 授業づくり支援  
「博物館利用の手引き」の作成、小学校への出前授業、「昔の道具調べ」「土地のつくりと変化」等館内での授業、ディスプレイボックスの学校への貸し出し等
- 職場体験学習、教員研修の受け入れ等
- 環境体験科(北九州市教育委員会主催の市内小学校4年生を対象とした体験活動)
- その他  
北九州市小学校児童科学研究作品展会場等

#### 3) 家庭教育支援事業

- いのちのたび子ども教室(20名を定員として前期8回、後期8回で学芸員による講話や体験学習を実施する。)
- 東田サマースクール(夏休み期間中に、環境ミュージアム、KIGSと合同で全3期の体験学習を実施する。)

#### 【平成25年度 学校関係利用状況】

- 学校関係誘致実績

団体	保・幼	小学校	中学校	高等学校	特別支援	合計
団体数	272	879	131	38	50	1,370
人数	15,686	61,894	10,999	2,889	1,292	92,760

- 体験プログラム受講者数

団体数	受講者数
134	6,094

- 環境体験科受講者数

学校数	受講者数
35	1,934

- いのちのたび子ども教室

講座数	参加者数
16	のべ320

- 東田サマースクール

回数	参加者数
3	75

## (2) 普及講座

### 1) 自然史系の普及講座

自然史に親しみ、理解を深めてもらうため各学芸員の専門分野の講座を 39 回企画した。悪天候による中止が 1 回あったため、38 回の実施となった（野外観察会：8 回、室内講座：7 回、たいけん講座：13 回、夏休み教室：4 回、バスハイク：7 回（うち 1 回中止））。

種別	講座名	開催日	曜日	人数
野外観察会	都市林のモニタリング型植物観察会～春の部	平成 25 年 4 月 21 日	日	18
野外観察会	ジオ・ハイキング（消えた化石の謎に迫る平尾台散策）	平成 25 年 4 月 21 日	日	18
野外観察会	バードウイーク市民探鳥会	平成 25 年 5 月 12 日	日	34
野外観察会	都市林のモニタリング型植物観察会～夏の部	平成 25 年 7 月 21 日	日	15
野外観察会	ジオ・ハイキング「恐竜時代の大地を知る皿倉山探検」	平成 25 年 10 月 6 日	日	36
野外観察会	都市林のモニタリング型植物観察会～秋の部	平成 25 年 10 月 20 日	日	14
野外観察会	ズグロカモメを見る！	平成 26 年 2 月 2 日	日	16
野外観察会	カワセミを見る！	平成 26 年 2 月 23 日	日	30
室内講座	化石と地球の研究、最前線：楽しく学ぶ地震と防災	平成 25 年 5 月 12 日	日	30
室内講座	恐竜を知ろう・その 1	平成 25 年 5 月 18 日	土	19
室内講座	恐竜を知ろう・その 2	平成 25 年 6 月 15 日	土	8
室内講座	昆虫標本の作り方	平成 25 年 6 月 16 日	日	54
室内講座	自然と歴史を活かした北九州ジオパークイニシアティブ	平成 25 年 8 月 18 日	日	15
室内講座	恐竜学講座・その 1	平成 25 年 10 月 19 日	土	2
室内講座	恐竜学講座・その 2	平成 25 年 11 月 16 日	土	5
たいけん講座	いろいろなかたちのアンモナイトにさわってみよう！	平成 25 年 5 月 26 日	日	8
たいけん講座	顕微鏡で見よう！美しい鉱物の世界	平成 25 年 6 月 9 日	日	22
たいけん講座	植物細密画を描いてみよう！	平成 25 年 6 月 16 日	日	9
たいけん講座	自然素材植木鉢キット「エコポ」ワークショップ	平成 25 年 8 月 17 日	土	16
たいけん講座	親子 de! 野菜から DNA をとりだしてみよう！	平成 25 年 6 月 23 日	日	51
たいけん講座	植物細密画を描いてみよう！	平成 25 年 10 月 6 日	日	7
たいけん講座	親子 de! 野菜から DNA をとりだしてみよう！	平成 25 年 10 月 13 日	日	28
たいけん講座	「けもの」の毛と骨の観察	平成 25 年 11 月 17 日	日	32
たいけん講座	自然史工作教室「ムササビとタネのグライダー」	平成 25 年 12 月 8 日	日	22
たいけん講座	石のペーパーウエイト作り	平成 25 年 12 月 8 日	日	11
たいけん講座	鳥はなぜ飛べる？ 鳥だこを作って考えよう！	平成 25 年 12 月 22 日	日	41
たいけん講座	恐竜すす払い！	平成 25 年 12 月 26 日	木	12
たいけん講座	小さな化石にふれてみよう！	平成 26 年 3 月 21 日	金・祝	34
夏休み教室	海岸生物の観察	平成 25 年 7 月 22 日	月	41
夏休み教室	権現山の昆虫と植物の観察会	平成 25 年 7 月 27 日	土	19
夏休み教室	ジオ・ハイキング「化石と地質の楽しみ方」	平成 25 年 8 月 3 日	土	32
夏休み教室	植物の名前調べ	平成 25 年 8 月 25 日	日	15
バスハイク	ジオ・ツアー「ジオの恵み：合馬の竹を楽しく学ぶマイクロバスツアー」	平成 25 年 4 月 28 日	日	11
バスハイク	ジオ・ツアー「化石から未来環境を考える小旅行」	平成 25 年 5 月 19 日	日	11
バスハイク	ジオ・ツアー「化石から日本の近代化を楽しく学ぶ旅」	平成 25 年 6 月 23 日	日	中止
バスハイク	ジオ・ツアー「生きた化石と平尾台の謎をとく旅」	平成 25 年 7 月 27 日	土	33
バスハイク	ジオ・ツアー「洞窟探検、平尾台満喫マイクロバスツアー」	平成 25 年 8 月 17 日	土	12
バスハイク	ジオ・ツアー「大地の恵み“化石と景観”を楽しむバスハイク」	平成 25 年 10 月 20 日	日	35
バスハイク	ジオ・ツアー「学芸員とめぐる北九州周辺の化石産地と代表的地層！」	平成 25 年 11 月 23 日	土・祝	32

合計 848

### 2) 歴史系の普及講座

歴史や文化にかかわる講座を実施し、理解につとめた。連続講座では、より深い学習を求める方々に向けた講座を行った。

種別	講座名	開催日	曜日	人数
たいけん講座	若武者に変身！	平成 25 年 5 月 5 日	日・祝	48
室内講座	小倉織 入門教室	平成 25 年 10 月 26 日	土	20

連続講座	近世文書読み方入門講座	平成 25 年 4 月～平成 26 年 1 月	第 2 水	29
連続講座	近世文書読み方応用講座	平成 25 年 4 月～平成 26 年 1 月	第 4 水	34

合計 131

### 3) 自然史・歴史合同の普及講座

「いのたび自然塾」と称して、自然史課・歴史課共同で自然学習園などにおいて自然の恵みと人々の歴史を考えるイベントを行った。

種別	講座名	開催日	曜日	人数
いのたび自然塾	藍のたたき染めでオリジナルエコバッグを作ろう！	平成 25 年 8 月 3 日	土	32
いのたび自然塾	藍の生葉で染めるシルクのハンカチ	平成 25 年 8 月 4 日	日	20
いのたび自然塾	どんぐりまつり！食べよう遊ぼう	平成 25 年 11 月 3 日	日	47

合計 90

### 4) 特別展の普及講座等

特別展に関連した講座等として下記を開催した。

種別	講座名	開催日	曜日	人数
関連イベント	講演会「江戸時代の大名と老中制」	平成 25 年 4 月 20 日	土	122
関連イベント	講演会「恐竜の気持ちになってたどるいのちのたび」	平成 25 年 4 月 27 日	土	100
関連イベント	学芸員連続講座	平成 25 年 5 月 19、26 日、 6 月 2、9 日	日	15
関連イベント	海野和男の昆虫撮影テクニック講座	平成 25 年 7 月 20 日	土	32
関連イベント	ナイトミュージアム	平成 25 年 8 月 2 日、9 日	金	748
関連イベント	昆虫ファミリーコンサート	平成 25 年 8 月 24 日	土	91
関連イベント	講演会「考古学から見た戦国秦漢時代と弥生時代の文化」	平成 25 年 9 月 14 日	土	156
関連イベント	古代の火おこし体験	平成 25 年 9 月 21 日～11 月 2 日 (7 回)	土	258
関連イベント	講演会「弥生・古墳時代の朝鮮半島と日本」	平成 25 年 10 月 26 日	土	193
関連イベント	「仁川広域市立博物館・旅順博物館の名品展」記念講演会	平成 25 年 12 月 21 日	土	79
関連イベント	韓国・中国のお正月体験	平成 26 年 1～2 月 (6 回)	日	823
関連イベント	もちつき	平成 26 年 1 月 4 日	土	300
関連イベント	水墨画の技	平成 26 年 1 月 12 日	日	200
関連イベント	韓国伝統「ポシャギ」で副巾着を作ろう！	平成 26 年 1 月 25 日	土	16
関連イベント	旧正月の食文化：中国「縁起を担ぐ年越し餃子」	平成 26 年 1 月 26 日	日	40
関連イベント	美味しく学ぶ中国茶の世界	平成 26 年 2 月 1 日	土	16
関連イベント	旧正月の食文化：韓国「韓国のお雑煮『トックク』を食べよう」	平成 26 年 2 月 2 日	日	40
関連イベント	ミスタッチコンサート	平成 26 年 2 月 22 日	土	120

合計 3349

(講演会等の 697 人以外はチケット購入が条件)

### 5) 開館 11 周年記念講座

開館 11 周年を記念した講座として、「恐竜ムービー IN いのちのたび博物館」と題して、ナショナルジオグラフィックチャンネル提供「ザ・進化 空飛ぶ恐竜」(60 分)を上映し、上映前後に学芸員が恐竜等の解説を行なった。

種別	講座名	開催日	曜日	人数
開館 11 周年記念講座	恐竜ムービー IN いのちのたび博物館	平成 25 年 11 月 2 日	土	230
開館 11 周年記念講座	恐竜ムービー IN いのちのたび博物館	平成 25 年 11 月 3 日	日	237
開館 11 周年記念講座	恐竜ムービー IN いのちのたび博物館	平成 25 年 11 月 4 日	月・祝	232

合計 699

## (3) 博物館実習

### 1) 自然史課博物館実習

学芸員課程の学生 12 名を受け入れ、各学芸員が数講座ずつ担当した。2 期に分け各期間内で 5 日間と 10 日間を学生が選択。

\*1期(8月13日(火)～8月24日(土):日曜・月曜休講の10日間)

- ・人数:6名(うち1名は5日間)
- ・所属大学:福岡大学4名、九州産業大学1名、高知大学1名

\*2期(8月27日(火)～9月7日(土):日曜・月曜休講の10日間)

- ・人数:6名(全員10日間)
- ・所属大学:北九州市立大学1名、九州産業大学1名、鹿児島大学2名、広島大学1名、帝京科学大学1名

## 2) 歴史課博物館実習

学芸員課程の学生9名を受け入れ、各学芸員が数講座ずつ担当した。2期に分けて通期10日間と半期5日間を学生が選択。

\*通期(7月30日～8月3日、8月20日～24日)

- ・人数:9名
- ・所属大学:北九州市立大学2名、山口大学2名、明治大学、同志社女子大学、法政大学、筑波大学、西南学院大学 各1名

## (4) 職場体験・インターンシップ・職員研修受け入れ

教育機関等からの依頼を受け、生徒・学生・教職員などが研修生として働くことで、将来に向けての就業体験や社会人として広く見識を深めることが出来るように研修の企画・運営を行った。

### 1) 職場体験・インターンシップ

- ・北九州市立枝光台中学校(平成25年7月2、3日 2年生3名)
- ・福岡県立遠賀高等学校(平成25年7月29、30日 2年生4名)
- ・福岡県立折尾高等学校(平成25年8月6、7日 2年生2名)
- ・九州国際大学附属中学校(平成25年11月1日 2年生5名)
- ・北九州市立中央中学校(平成26年1月21、22日 2年生7名)

### 2) 職員研修受け入れ

- ・福岡県立北筑高等学校(平成25年8月6日～8日 教諭2名)
- ・福岡県立武蔵台高等学校(平成25年8月6日、7日 教諭1名)
- ・福岡県立小倉南高等学校(平成25年8月7日 教諭2名)
- ・北九州市立二島小学校(平成25年8月6日～8日 栄養教諭1名)
- ・北九州市立浅川中学校(平成25年8月7日～9日 教諭1名)

## (5) 館外での講演等

依頼を受けた講演会等で市民・一般の方々へ、各学芸員の専門分野の講話や解説を行った。

- ・対応件数計:32回・1500名以上に対応
- ・主な講演先:小中学校(市内)、高等学校等教育機関(県内外)、各自治体、メディア等

## (6) 公務による大学での講義

- ・北九州市立大学
  - 「自然史へのいざない」自然史課学芸員全員11名 受講生約200名
  - 「博物館資料保存論」自然史課(馬場 稔、太田泰弘、下村通誉、御前明洋、山根明弘、森 康)、歴史課(松井和幸、日比野利信、富岡優子) 受講生約10名
  - 「博物館展示論」自然史課(藪本美孝、馬場 稔、真鍋 徹、武石全慈、山根明弘、大橋智之)、歴史課(松井和幸、日比野利信、守友 隆) 受講生約10名
  - 「環境都市としての北九州」山根明弘 受講生約150名
  - 「地球環境システム概論」真鍋 徹・武石全慈 受講生約190名
- ・福岡教育大学
  - 「博物館学B」太田泰弘 受講生約20名
- ・福岡大学
  - 「博物館実習事前指導」馬場 稔 受講生約15名



- 「博物館経営論（博物館学 B と合併）」馬場 稔 受講生約 60 名
- ・九州大学
  - 「先端学際科学」森 康 受講生約 180 名
- ・放送大学
  - 「化石が語る生命進化」藪本美孝、御前明洋、大橋智之、受講生 30 名

## (7) 団体・委員会への就任依頼

- ・藪本美孝（自然史課）
  - ・北九州学術・研究都市貴重種対策検討委員会分科会委員（北九州市）
  - ・恒見朽網線環境影響評価に伴う環境保全措置全体検討会委員（北九州市）
  - ・恒見朽網線環境影響評価に伴う環境保全措置魚類・動物作業部会委員（北九州市）
  - ・石川県白山市手取層群化石調査団員
  - ・福島県・シーラカンス委員会国内委員（ふくしま海洋科学館）
- ・馬場 稔（自然史課）
  - ・福岡県環境審議会委員（福岡県）
  - ・平成 25 年度特別天然記念物カモシカ食害対策事業保護指導委員（大分県）
  - ・周南市ツル保護協議会委員（周南市）
  - ・福岡県サル被害対策検討委員会委員（福岡県）
  - ・小倉南区野生ザル調査検討会委員（北九州市）
- ・真鍋 徹（自然史課）
  - ・北九州学術・研究都市貴重種対策検討委員会分科会委員（北九州市）
  - ・恒見朽網線環境影響評価に伴う環境保全措置全体検討会委員（北九州市）
  - ・恒見朽網線環境影響評価に伴う環境保全措置植物・鳥類作業部会委員（北九州市）
  - ・小石原ダム環境保全対策検討委員会委員（水資源機構）
  - ・小石原ダム環境保全対策検討委員会クマタカ検討部会委員（水資源機構）
  - ・日本景観生態学会編集委員（日本景観生態学会）
  - ・日本景観生態学会企画委員（日本景観生態学会）
  - ・日本生態学会九州地区委員（日本生態学会）
- ・武石全慈（自然史課）
  - ・北九州学術・研究都市貴重種対策検討委員会委員（北九州市）
  - ・福岡県希少野生生物保護検討会委員（福岡県）
  - ・周南市ツル保護協議会委員（周南市）
  - ・日本鳥学会鳥類保護委員会委員（日本鳥学会）
- ・太田泰弘（自然史課）
  - ・日本洞窟学会事務局長・評議員（日本洞窟学会）
  - ・洞窟学雑誌・ケイピングジャーナル編集委員（日本洞窟学会）
  - ・日本地質学会理事（日本地質学会）
  - ・日本地質学会広報委員（日本地質学会）
  - ・日本地質学会古生物部会：中・古生代担当幹事（日本地質学会）
  - ・福岡県環境教育学会運営委員（福岡県環境教育学会）
- ・山根明弘（自然史課）
  - ・北九州学術・研究都市貴重種対策検討委員会分科会委員（北九州市）
  - ・小石原川ダム環境保全対策検討委員会委員（水資源機構）
  - ・宇佐市オオサンショウウオ保護管理委員会委員（宇佐市）
  - ・岩国市シロヘビ調査研究委員会委員（岩国市）
  - ・九州両生爬虫類研究会 運営委員
- ・森 康（自然史課）
  - ・日本鉱物科学会博物館委員会委員（日本鉱物学会）
- ・下村通誉（自然史課）
  - ・福岡県希少野生生物保護検討会委員（福岡県）
  - ・福岡市博多湾環境保全計画推進委員会委員（福岡市）

- ・福岡市新西部水処理センター環境モニタリング委員会委員（福岡市）
- ・日本甲殻類学会学会誌 **Cancer** 編集委員長（日本甲殻類学会）
- ・日本動物分類学会学会誌 **Species Diversity** 編集委員（日本動物分類学会）
- ・西日本自然史系博物館ネットワーク「標本救済ネット」ケースワーカー（西日本自然史系博物館ネットワーク）
- ・無脊椎動物におけるデータベース作成上の問題点の検討委員会委員（大阪市立自然史博物館）
- ・御前明洋（自然史課）
  - ・鳥屋城山化石環境調査検討会委員（和歌山県立自然博物館）
- ・大橋智之（自然史課）
  - ・日本古生物学会化石友の会幹事（日本古生物学会）
  - ・日本古生物学会将来計画委員会委員（日本古生物学会）
- ・松井和幸（歴史課）
  - ・たたら研究会全国委員（たたら研究会）
  - ・（財）古代学協会編集協力委員（古代学協会）
  - ・古代学研究会地域協力委員（古代学研究会）
- ・日比野利信（歴史課）
  - ・春日市文化財専門委員会委員（春日市）
- ・宮元香織（歴史課）
  - ・佐賀県文化財保護審議会委員（佐賀県）（産休・育休中断）
- ・中西義昌（歴史課）
  - ・日本建築学会九州支部歴史・意匠委員（日本建築学会）

## （８）館長出前授業

北九州市内の小・中学校を対象に、専門的な見地から自然科学分野について「いのちのたび～いのちがつながっている～」をテーマに講演を行うことで、児童生徒の科学に対する興味・関心を高め、生涯にわたって知的好奇心を育てていく基礎と生命を尊ぶ心情を育てることを目的とする。また、いのちのたび博物館の認知度を高め、博物館は身近なものであるという認識を形成し、当館のイメージアップを図る。

- ・北九州市立一枝小学校（平成 25 年 11 月 5 日）
- ・北九州市立中央中学校（平成 25 年 11 月 28 日）
- ・北九州市立大蔵中学校（平成 25 年 12 月 5 日）
- ・北九州市立枝光小学校（平成 26 年 3 月 11 日）

### 13. 博物館ボランティア（シーダー）の活動

#### (1) 人数 (平成25年4月1日現在)

- 登録人数 55名 [男性 22名 女性 33名]  
 20代 (1名) 30代 (2名) 40代 (2名) 50代 (10名)  
 60代 (16名) 70代 (21名) 80代 (3名)

#### (2) 活動実績

- 延べ日数 354日
- 延べ活動回数 2,817回 (平均 51.2回/人)

#### (3) 活動内容

- 館内案内、常設展・特別展解説、スポット解説、ミュージアムティーチャーの体験学習プログラム補助 (化石レプリカ・顕微鏡・勾玉・DNA・化石発掘・昔の道具調べ等)、学芸員の普及講座補助、子ども教室・東田サマースクール補助を行う。
- 本館での体験学習が平成23年度より、北九州市立小学校 (131校) 全ての4年生を対象に行われる「環境体験科」の学習プログラムに組み込まれた。そこで、学芸員の授業やM・Tの体験活動の補助を行う。
- それぞれの得意分野を生かしての活動として、様々な恐竜や生き物などの「折り紙」、九州の民話から抜粋した「手作り紙芝居」、お手玉・こま回しなどの「昔あそび」、綿の栽培・収穫・糸紡ぎ・機織り体験をする「小倉織」等を行う。

#### (4) 研修

- 毎月1回の学芸員との「交流ゼミ」を通して、シーダーとしての資質の向上に努めた。

実施日	人数	講 話 題	話 者	
第96回 4月23日(火)	29名	タンパク質の一生 「北九州市の宝もの」展の解説	伊藤 明夫 歴史課学芸員	
第97回	5月2日(木)	25名	自然史ゾーンのリニューアルポイントの解説	自然史課学芸員
	5月22日(水)	28名	歴史ゾーンのリニューアルポイントの解説	歴史課学芸員
第98回 6月11日(火)	18名	北九州の文化財とくに仏像 ガムシのマニアックな話	富岡 優子 蓑島 悠介	
第99回 7月25日(木)	18名	隠れて暮らす甲殻類の分類学的研究 考古遺物と化学分析	下村 道誉 森 康	
第100回 8月29日(木)	18名	アンモナイトと付着生物 小倉城下町を解剖する	御前 明洋 守友 隆	
第101回 9月17日(火)	23名	モンゴルの恐竜 特別展「邪馬台国が見える！古代日本の原風景」展示解説	大橋 智之 松井 和幸	
第102回 10月24日(木)	14名	お・も・て・な・し！！のジオ・ツーリズム	太田 泰弘	
第103回 11月21日(木)	17名	展示室の鳥類：どんな解説ができる？ ミュージアムエドゥケーターへの道	武石 全慈 上野 晶子	
第104回 12月5日(木)	17名	博物館の植物再考 黒田官兵衛は築城の名手か	真鍋 徹 中西 義昌	
第105回 1月9日(木)	17名	ムジナは化けるか？—最近のけもの事情 「仁川広域市立博物館・旅順博物館の名品展」の展示解説	馬場 稔 日比野利信	
第106回 2月4日(火)	20名	国際学会への参加と標本収集	鯨本 美孝	
臨時 3月27日(木)	15名	「まるごと猫展」の展示解説	山根 明弘	

- シーダーバス研修実施

日時 平成26年2月27日 (木) 9:00~17:00

場所 下関市立しものせき水族館「海響館」・功山寺・下関長府博物館

参加者 シーダー23名、職員3名

## 14. 自然史友の会の活動

### 目的

博物館とともに楽しく自然を研究し、正しく自然を理解し、自然史学の普及発展に寄与し、会員相互の親睦を図ることを目的とする（自然史友の会規約第2条）。

### 会員数

686名（平成26年3月31日現在）

### 役員等

会長：小林 繁、副会長：原田隆好・土佐野 実、幹事長：新海義治、事業担当幹事7名、出版担当幹事9名、庶務会計担当幹事4名、会計監査2名、評議員37名、顧問15名

### 年会費

正会員：大人 3,000円、小・中・高生 1,000円、家族 4,000円。賛助会員：10,000円

### 活動内容

- (1) 会誌「わたしたちの自然史」の発行（B5版、総カラー24ページ）  
第124号（7月4日発行）：「曾根干潟のクロツラヘラサギ」など12件の調査報告等  
第125号（10月18日発行）：「チリ採集紀行（前編）」など9件の調査報告等  
第126号（12月24日発行）：「黄金のドンコ」など9件の調査報告等
- (2) 研究部会の活動：例会の実施  
地質鉱物（第137～143回例会）、化石（第328～334回例会）、植物（第134～138回例会）、昆虫（データ入力12回及び講演会1回）、水生動物（休止中）、両生・爬虫類（第170～180回例会）、鳥類（第123回例会）
- (3) 研究部会合同野外観察会の実施  
9月23日（月・祝）に北九州市若松区頓田貯水池周辺にて実施。参加者28名（大人23名、子供5名）。
- (4) 博物館との共催の野外観察会の実施  
野外観察会・夏休み教室を10回実施。
- (5) 友の会主催一般市民向けの室内講座「植物細密画を描いてみよう！」の実施  
第1回（6月16日、参加者9名）と第2回（10月6日、参加者7名）を博物館にて実施。
- (6) 会員向け講座「スルメイカ大解剖-スルメイカの体のしくみをしらべよう！-」の実施  
11月24日に博物館にて実施。参加者18名（大人10名、小学生8名）
- (7) 研究発表会の実施  
4月29日に博物館にて「福岡県北部におけるアオイガイの調査」など13件の発表。参加者129名。
- (8) 会議等の実施  
総会（4月29日）、親睦会（4月29日）、評議員会（3月21日）、出版担当幹事会（4回）、事業担当幹事会（2回）、庶務会計担当幹事会（1回）を実施。

## 15. 歴史友の会の活動

### 目的

本会は、考古学など歴史に関する学習を通じて自己啓発と会員相互の親睦を図り、正しい古代史への理解と認識を高めるとともに、博物館への協力によって北九州地域の文化の向上に寄与することを目的とする（歴史友の会会則第2条）。

### 会員数

203名（平成26年3月末現在）

### 役員等

会長：山中英彦、副会長：野口委有、顧問：上田功、会計3名、監事2名、企画担当5名、会員管理担当2名、講座運営担当11名、遺跡見学運営担当7名、広報・会誌編集5名

### 年会費

正会員：4,000円 賛助会員：10,000円以上 臨時会員：実費（資料代）700円

### 活動内容（平成25年度）

(1) 会誌「友の会だより」の発行（A4版、総カラー6ページ、年3回）

### (2) 講演会

日時	講演タイトル	講師	人数
4月20日(土)	江戸時代の大名と老中制	東京大学大学院教授 山本博文 先生	124名
6月15日(土)	福原長者原遺跡 —九州最大級の奈良時代官衙政庁跡—	九州歴史資料館 岡田 諭 先生	100名
	塔田琵琶湖遺跡 —渡来人の末裔が営んだ大集落—	九州歴史資料館 小澤佳憲 先生	
7月13日(土)	踏絵の一形態—紙踏絵の紹介と検討—	西南学院大学教授 高倉洋彰 先生	86名
8月17日(土)	よみがえる中世の町—広島県草戸千軒町遺跡—	比治山大学名誉教授 松下正司 先生	88名
9月14日(土)	考古学からみた戦国秦漢時代と弥生時代の文化	中国社会科学院考古研究所副所長 白雲翔 先生	156名
10月26日(土)	弥生古墳時代の朝鮮半島と日本	福岡大学教授 武末純一 先生	193名
12月14日(土)	仁川広域市立博物館の名品	仁川広域市立博物館館長 李明淑 先生	79名
	旅順博物館の名品	旅順博物館館長 王振芬 先生	
1月18日(土)	幕末海峡裏話 「長州藩」のお家事情仲違い幕末史	下関市立長府博物館館長 古城春樹 先生	118名
3月15日(土)	何故日本がトルコで発掘を行うのか	中近東文化センター付属アナトリア考古学 研究所所長 大村幸弘 先生	98名

### (3) 遺跡見学会

日時	場所	人数
5月25日(土)～5月26日(日)	遺跡見学会(田原坂・熊本城・人吉)	33名
9月27日(金)～9月29日(日)	遺跡見学会(和歌山)	45名
11月10日(日)	遺跡見学会(萩)	53名
2月9日(日)	遺跡見学会(八女・柳川)	51名

## 16. 資料の収集保存状況

### (1) 自然史課

#### 1) 平成 25 年度資料収集状況

平成 25 年度の自然史資料登録点数は以下のとおりである。

	24 年度末累計	25 年度登録数					25 年度末累計
		寄贈	寄託	購入	採集	小計	
生物系	78,603	48	0	3	9	60	78,663
地学系	33,846	92	0	5	54	151	33,997
合計	112,449	140	0	8	63	211	112,660

#### 2) 平成 25 年度収集資料の概要

平成 25 年度には、上記の登録標本の他に、まずは一括して受け入れた寄贈標本が約 14,000 点あり、今後の処理及び登録に供されることになる。それらには、県内高等学校からの岩石・鉱物、化石、植物、液浸標本が約 3,400 点、個人コレクションからの蝶類標本約 9,000 点、アンモナイト・オウムガイ化石 712 点、さく葉標本 369 点が含まれる。また県内の動物園からは飼育後斃死したアフリカゾウ一体を骨格標本用にご寄贈いただいた。

### (2) 歴史課

#### 1) 平成 25 年度資料収集状況

平成 25 年度の歴史資料登録点数は以下のとおりである。

	24 年度末累計	25 年度登録数					25 年度末累計
		寄贈	寄託	購入	採集	小計	
歴史系	30,519	1	0	0	0	1	30,520
考古系	43,885	10	0	0	0	10	43,895
合計	74,404	11	0	0	0	11	74,415

#### 2) 平成 25 年度収集資料の概要

平成 25 年度には、慶応 4 年 2 月に江戸で創刊された『中外新聞』の一部で 8 号 31 枚分と、伊藤田ホヤ池窯跡（中津市）出土の須恵器 10 点の寄贈を受けた。

昨年度に引き続き寄贈等による資料収集が極端に少ないが、すでに受入・登録を前提として調査・整理を進めている資料は少なからずある。次年度以降の整理・登録の進展を期したい。

## 17. 資料の特別観覧〈研究他〉状況（自然史・歴史）

	担当課	資料名	目的	所属/団体名	閲覧者	人数	閲覧日
1	自然史	ニッパラムシラグモ標本	大熊千代子コレクションの検索		入江 照雄	1	H25. 4. 17
2	自然史	アメリカ・モンタナ州上部白亜系産の脊椎動物化石	アメリカ・モンタナ州上部白亜系産獣脚類化石の記載（卒業研究）	福岡大学	鬼木 亜莉沙・田上 響	2	H25. 4～H26. 3
3	自然史	関門層群産の脊椎動物化石	関門層群産脊椎動物化石の記載（修士研究）	福岡大学	立島 潤一郎・田上 響	2	H25. 4～H27. 3
4	自然史	関門層群産の脊椎動物化石	関門層群産脊椎動物化石の記載（卒業研究）	福岡大学	青木 孝之・田上 響	2	H25. 4～H26. 3
5	自然史	関門層群産の脊椎動物化石	関門層群産脊椎動物化石の記載（卒業研究）	福岡大学	山崎 卓哉・田上 響	2	H25. 4～H26. 3
6	自然史	芦屋層群産の脊椎動物化石	芦屋層群産脊椎動物化石の記載（卒業研究）	福岡大学	黒木 実可子・田上 響	2	H25. 4～H26. 3
7	自然史	1987年大分県緒方町産ツキノワグマ	九州産ツキノワグマの取材の一環として		宗像 充	1	H25. 8. 29
8	自然史	植物さく葉標本	稀少創薬資源植物に関連する植物標本調査	医薬基礎研究所	杉村 康司	1	H25. 11. 7～8
9	自然史	テッポウエビ類・アナジャコ類	分類学的研究	千葉県立中央博物館	駒井 智幸	1	H26. 2. 3～6
10	歴史課	稲生家文書	郷土史調査		村上 勝郎	1	H25. 4. 3
11	歴史課	旧小笠原玲子氏所蔵小笠原文書 旧小倉図書館所蔵小笠原文書 蜀山人の書	新宿における小笠原家及び大田南畝に関する資料調査	新宿歴史博物館	今野 慶信	1	H25. 4. 19
12	歴史課	石臼	石臼の調査		末廣 隆之	2	H25. 5. 15
13	歴史課	中村平左衛門日記（万延2年/文久6年）	横代村清吉に関する調査		本田 康之	1	H25. 7. 5
14	歴史課	八旗神社1号墳双竜塚頭大刀	金鈴塚古墳の大刀との比較		大谷 晃二	1	H25. 8. 5
15	歴史課	天観寺山竈跡出土 大甕	卒業論文執筆のため	福岡大学	佐々木 華子	1	H25. 8. 7
16	歴史課	郷屋遺跡・高津尾遺跡出土 素環刀・刀子	卒業論文執筆のため	島根大学	立谷 聡明	1	H25. 9. 25
17	歴史課	貫遺跡出土石包丁（埋文調査室管理）		愛媛大学	下條 信行	1	H25. 12. 5

## 18. 資料の貸出状況（自然史・歴史）

	担当課	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
1	自然史	マジュンガサウルス全身復元骨格レプリカー式、テリジノサウルス前肢部分骨格レプリカー式	2	福岡県青少年科学館	夏の特別展「恐竜展(仮称)」での展示	H25. 7. 3～9. 4
2	自然史	ケツアルコアトルス生体復元レプリカー式、ズンガリプテルス地上姿勢全身復元骨格レプリカー式、スピノサウルス上顎骨格レプリカ1点、アンモナイト類標本実物及びレプリカ41点	44	宮崎県総合博物館	特別展「よみがえる恐竜時代」での展示	H25. 6. 15～9. 15
3	自然史	シマウマ毛皮標本1点、アナグマ剥製標本1点、ノウサギ剥製標本1点、ニホンリス剥製標本1点、シカ トロフィー1点	5	直方谷尾美術館	企画展「動物園がやってきた!」での展示	H25. 6. 20～9. 27
4	自然史	インドネシアシーラカンス複製	1	萩博物館	特別展「トレジャーアニマル探求記」での展示	H25. 7. 2～9. 11
5	自然史	カバ骨格標本1点、ツキノワグマ剥製標本1点	2	海の中道海洋生態科学館	企画展「海のどうぶつ博物館」での展示	H25. 7. 8～9. 3
6	自然史	ナウマンゾウ幼体復元頭骨レプリカー式	1	国立科学博物館	レプリカ標本製作	H25. 7. 25～9. 15
7	自然史	シーラカンス実物標本等	19	薩摩川内市教育委員会	「甌島の魚類化石とシーラカンス展」での展示	H25. 7. 28～9. 16

8	自然史	プロトブテルム産状模型1点、プロトブテルム類頭骨レプリカ1点、骨質歯鳥上腕骨レプリカ1点、二枚貝化石とサメの歯1点、アシヤツノガイ1点、キッシュウタマキガイ1点、ソデガイ類1点、アシヤミノヘレーヌス(カニ)1点、スナモグリ1点	9	芦屋町歴史民俗資料館	特別展「芦屋の化石展」での展示	H25.7.24～11.7
9	自然史	ゾウ前脚化石3点、トラ剥製1点、エゾヒグマ剥製1点	3	大分県立歴史博物館	特別展「いきものと生きる」での展示	H25.10.9～12.13
10	自然史	北九州市小倉南区長行の関門層群産恐竜歯化石	1	福岡大学 田上 響	化石標本のCT画像撮影	H25.9.27～10.31
11	自然史	植物さく葉標本デジタルデータベース	1	農業環境技術研究所 大澤剛士	耕作放棄による植物分布への影響評価研究	H25.9.13
12	自然史	ハムシ科標本7種13頭	13	チェコ・メンデル大学 Jan Bezdek	甲虫目ハムシ科の分類学的研究	H25.9.29
13	自然史	ハムシ科標本3種8頭	8	ポーランド・プロツワフ大学 HeeWook Cho	甲虫目ハムシ科の分類学的研究	H25.9.29～ H26.3.26
14	自然史	北九州産植物掲載書籍	4	三洋テクノマリン(株)	風力発電アセスメントに関わる植物相の把握	H26.2.17～4.1
15	自然史	宗像市産哺乳類化石(コリフォドン類)標本14箱	14	福井県立恐竜博物館	コリフォドン類の研究継続	H26.3.20～ H27.3.19
16	自然史	北九州市関門層群千石層産カメ化石	3	早稲田大学 平山 廉	カメ化石の系統学的研究	H26.3.31～ H27.3.31
17	自然史	成羽産球果類化石タイプ標本	3	高梁市成羽美術館	開館20周年記念展「世界に誇る成羽の化石」での展示	H26.3.1～10.31
18	歴史	山本作兵衛炭鉱記録画(坑内)複製 山本作兵衛炭鉱記録画(坑外)複製	2	若松に玄関を作る会 代表 家次寔	若松に玄関をつくる会主催「山本作兵衛・炭鉱記録画展と若松歴史展」(於:若松市民会館)での陳列	H25.6.15～6.17
19	歴史	日満連絡船案内(大阪商船) 日満連絡船定期表(大阪商船) 満州へ(大阪商船) 絵葉書「東洋一を誇る大連埠頭船客待合所玄関」 絵葉書「東洋一を誇る大連埠頭船客待合所」 絵葉書「満蒙物資の吞吐港 大連埠頭の壮観」 絵葉書「満蒙の玄関 大連埠頭の盛況」 絵葉書「大連埠頭大玄関より埠頭事務所付近の雑観」 大連(吉田初三郎画、ジャパンツーリストビューロー大連支部) 絵葉書「国際都市としての施政を誇る大連市役所」 絵葉書「大連商業界の中心地 繁盛を誇る大連通の展望」 絵葉書「大連一的美橋 帝都を偲ぶ日本橋」 絵葉書「紳商軒を並ぶる屈指の商業地 大連の大連通」 絵葉書「満州平野の生命を制する満鉄本社の景観」 絵葉書「東洋一の完備を誇る大連医員の偉容」 絵葉書「大連神社」7枚組 絵葉書「緑陰に風憩ふ大連の中央公園」 絵葉書「勇士の英霊永へに眠る大連中央公園の忠霊塔」 絵葉書「大連電気遊園地内の美観を添ふる音楽堂」 絵葉書「千紫万紅の草花艶を競ふ大連電気遊園地の温室」 パンフレット「星ヶ浦ヤマトホテル」 絵葉書「大連寺兒溝苦力収容所」 絵葉書「苦力の生活」6枚組 絵葉書「国都の玄関大連駅」 満州旅行の栞(南満州鉄道株式会社)	25	北九州市港湾空港局長 橋本哲治	旧大連航路上屋常設展(於:旧大連航路上屋1階エントランスホール)での陳列	H25.7.17～
20	歴史	即非如一 遺偈(福聚寺より寄託)	1	九州国立博物館館長 三輪嘉六	文化交流展示「黄檗の墨跡」での陳列	H25.7.15～8.28
21	歴史	西大山笠見送り(西大山笠より寄託)	1	戸畑祇園大山笠振興会 会長 後藤雅秀	西大山笠見送りの復元新調に伴う調査	H25.6.22～3.31



22	歴史	北九州市長野 A 遺跡出土 墨書土器「企救一」 北九州市上清水遺跡出土 墨書土器「金山」	2	行橋市教育委員会 教育長 山田英俊	企画展「見えてきた豊前の国府」 (於：行橋市歴史資料館)での陳列	H25. 7. 5～8. 22
23	歴史	筑豊川ひらた同業組合事務所印 川ひらた取締認可状	2	田川市石炭・歴史博物館 館長 安蘇龍生	田川市石炭・歴史博物館開館 30 周年記念・特別企画展「たがたんが行く！たがわ世界記憶遺産」展での陳列	H25. 7. 17～9. 7
24	歴史	門司新市街図 (大正 5 年) 絵葉書 門司駅 (昭和 8 年) 絵葉書 鎮西橋より西本町通りを望む (昭和 2 年) 絵葉書 老松公園忠魂碑 (昭和 8 年) 絵葉書 菊屋前デパート通り (昭和 13 年)	5	北九州市立美術館 館長 西村勇晴	「柳瀬正夢 1900-1945」(北九州市立美術館、神奈川県立近代美術館、愛媛県美術館)での陳列	H25. 11. ～H26. 6. 5
25	歴史	九曜・五三桐入り馬盥 九曜紋入り双六盤 九曜紋入り桜流水文鞍 九曜紋付き緋羅紗陣羽織	4	北九州まちづくり 応援団株式会社 代表取締役 伊藤健二	企画展「三城物語～唐津城から小倉城、そして熊本城へ細川家の軌跡～」(於：小倉城)での陳列	H25. 10. 4～H26. 4. 1
26	歴史	板絵着色木屋瀬宿絵馬 (改盛町町内会より寄託)	1	「山笠の力」展実行委員会 会長 有馬学	「山笠の力 ハカタウツシ」(於：福岡市博物館)での陳列	H. 25. 10. 22～12. 27
27	歴史	給食 (食品レプリカ)	1 式	西部ガス 北九州支社	「くらしガ、スマート 2013」(於：西日本総合展示場本館)での陳列	H25. 10. 9～16
28	歴史	豊臣秀吉知行宛行状(天正 15 年 7 月 3 日 時枝鎮継宛) 豊臣秀吉知行宛行状(天正 15 年 7 月 3 日 時枝鎮継宛)複製 小倉城出土金箔押鬼瓦 (北九州芸術文化振興財団埋蔵文化室より借用)	3	行橋市教育委員会 教育長 山田英俊	特別展「秀吉・黒田官兵衛見参一馬ヶ岳城の世界」(於：行橋市歴史資料館)での陳列	H26. 1. 8～6. 30

## 19. 画像等資料の貸出状況 (自然史・歴史)

担当課	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
1 自然史	アースモール室内写真、ケツアルコアトリス骨格写真、マウソニア・ラボカティ復元骨格写真	3	洋泉社	洋泉社刊行の「10 大恐竜と巨大古生物」(仮)への掲載	H25. 7. 16
2 自然史	雲仙普賢岳の溶岩の画像	1	(株)エイジャ	朝日新聞出版刊行の雑誌「週刊地球 46 億年の旅」への掲載	H25. 7. 23
3 自然史	ミンダナオオオヤママユ標本画像及びテイオウゼミ標本画像	2	(有)ハユマ	PHP 研究所刊行の「巨大生物はっけん図鑑」(仮)への掲載	H25. 9. 19
4 自然史	下関市吉母産恐竜足跡化石画像及び北九州市関門層群産魚類化石画像	2	豊田ホテルの里ミュージアム	企画展「下関とその周辺の白亜紀の化石」での展示パネルと関連テキストに使用	H25. 9. 25
5 自然史	プロトプレラム類 (コペテリクス) 全身復元骨格レプリカ画像	1	講談社	講談社刊行の「The Penguins 地球にすむユニークな 19 種全網羅」への掲載	H25. 10. 31
6 自然史	キリン骨格写真	2	(有)ディレクションズ	NHK 教育番組「シャキーン！」での使用	H26. 2. 17 放映
7 自然史	ティラノサウルス頭骨レプリカ映像	1	NHK エンタープライズ	ドラマ「青春牡丹燈籠」での再使用	H26. 1. 16
8 自然史	ニッポンサイ全身骨格標本画像	1	門司区役所総務企画課	門司区「吉志すまいる公園」に設置予定の「マツガエサイ」説明板に使用	H26. 2. 21
9 自然史	恐竜の卵の画像	1	(株)新興出版社啓林館	啓林館発行の「中学校理科教科書」とその関連媒体への使用	H26. 2. 27
10 歴史	小笠原忠真画像	1	電算印刷株式会社 笹木逸夫	情報誌「DECENT」への掲載	H25. 4. 5
11 歴史	孫文一行と安川家の人々 (写真)	1	中文導報社 新谷一	「孫中山と大月薫」(星輝書店)への掲載	H25. 5. 16
12 歴史	豊国名所「ぎおん踊」 「祇園社」 西国内海名所一覧 全図および部分	8	北九州市立小倉城庭園 館長 藤家と夫	「祇園祭と八坂神社」展の図録およびパネルへの掲載	H25. 7. 2

13	歴史	絵葉書「大阪商船会社 ねつか丸」 絵葉書「大阪商船会社 ねつか丸（船内）」 5枚 絵葉書「大会社巨商の櫛比せる 大連の山県通」 絵葉書「大連・満鉄埠頭事務所」 絵葉書「大連・清趣溢れる大広場」 絵葉書「壮麗無比・巍然たる大連ヤマトホテル」 絵葉書「大連日本橋」 絵葉書「東洋一を誇る大連鎮商店街の全容」 絵葉書「星ヶ浦海水浴場及後藤伯銅像」	9	北九州市港湾空港局長 橋本哲治	旧大連航路上屋常設展（於：旧大連航路上屋1階エントランスホール）での陳列	H25. 7. 17
14	歴史	小笠原忠固画像	1	末松寿宏	穴生学舎の大学祭での展示（歴史に学ぶ）のため	H25. 9. 6
15	歴史	明治6年の白洲灯台 灯台図 陰徳録 願書 通達書	5	劇団青春座 代表 井生定巳	北九州市制50周年記念事業「白洲灯台」演劇公演パンフレットへの掲載	H25. 10. 8
16	歴史	大内義隆書状（天文10年6月12日付 門司弥三郎宛）	1	柏書房株式会社 代表取締役 富澤凡子	『戦国大名の古文書 西日本編』への掲載	H25. 10. 17
17	歴史	唐冠形兜・赤漆塗革包胴具足（井上之房所用） 米粒形脇立兜・紫糸威二枚胴具足（久野重勝所用）	2	株式会社宮帯出版社 代表 宮下玄霸	本山一城著『黒田二十四騎』への掲載	H25. 10. 25
18	歴史	小笠原忠真画像	1	株式会社毎日放送 宗川圭太	11月21日の「ちちんぷいぷい」（昔の人は偉かった）内での放映	H25. 11. 14
19	歴史	唐冠形兜・赤漆塗革包胴具足（井上之房所用）	1	北九州市産業経済局観光コンベンション課 課長 岩見一朗	日産プリンス福岡発行「エンジョイプリンス2014年1月号」黒田官兵衛ゆかりの地をめぐるへの掲載	H25. 11. 19
20	歴史	唐冠形兜・赤漆塗革包胴具足（井上之房所用）	1	有限会社アンサクト 代表 福田敦子	福岡県観光連盟発行パンフレット【クロスロード福岡冬号】特集『黒田官兵衛 ゆかりの地・福岡』への掲載	H25. 11. 21
21	歴史	小笠原忠真画像	1	読売テレビ 坂泰知	読売テレビ「かんさい情報ネット.ten」若一ミステリー“明石城の城下町をつくったのは宮本武蔵だった”内での放映	H25. 12. 18
22	歴史	小笠原忠真画像	1	明石市長 泉房徳	明石市発行「広報あかし」1月1日特別号への掲載	H25. 12. 19
23	歴史	小笠原忠真画像	1	NHK制作局・生活食料番組部 松本浩司	1月7日のNHK「あさいち」の特集「スゴ技Q今こそ知りたい！ぬか漬けパワー」内での放映	H25. 12. 25
24	歴史	小笠原忠雄画像	1	福智町長 浦田弘二	福智町観光看板「福知八景」への掲載	H26. 1. 23
25	歴史	宗祇馬上図	1	太宰府市教育委員会 教育長 木村甚治	小学生と中学生の「太宰府の歴史と文化を学ぶ」副読本への掲載	H26. 2. 28
26	歴史	長野城ジオラマ（長野城合戦の様子）	1	学研パブリッシング 脇谷典利	「歴史発見」3号「日本と世界の城を比較する」への掲載	H26. 3. 19

## 20. 学芸員研究業績（自然史）

### （1）論文・著書など

- Yabumoto, Y. and P. M. Brito (2013) The second record of a mawsoniid coelacanth from the Lower Cretaceous Crato Formation, Araripe Basin, northeastern Brazil, with comments on the development of coelacanths. *Mesozoic Fishes 5 – Global Diversity and Evolution*, G. Arratia, H.-P. Schultze & M. V. H. Wilson (eds.): pp. 489-497, 5 figs., 1 tab.
- Yabumoto, Y. and L. Grande (2013) A new Miocene amiid fish, *Amia godai* from Kani, Gifu, Central Japan. *Paleontological Research*, 17(2): 113-126, figs. 1-8.
- 伏見清香・藪本美孝・真鍋 真・池本誠也（2014）Wi-Fi 環境と展示解説の可能性 展示解説 web の試みと実践. *展示学*（日本展示学会誌），51号，88-91頁，図1-4.
- 真鍋 徹・川窪伸光（2014）映像による展示が可能にする知覚体験. 平井康之（編）「知覚を刺激するミュージアム」97-127 pp. 学芸出版社.
- Ito, K., Fjortoft, I., Manabe, T. & Kamada, M. (2014) Landscape design for urban biodiversity and ecological education in Japan. *In: Nakagoshi, N. & Mabuhay, A. (eds.). Designing Low Carbon Society in Landscape*. 73-86 pp. Springer.
- 野井英明・太田泰弘・梅崎恵司（2013）黒崎城跡（遺跡）とその周辺をフィールドとした野外観察の環境教育効果の検証と意義, *環境教育*（日本環境教育学会），vol. 23-2, 93-104.
- 下村通蒼・布村 昇（共著）2012-2013. 日本産等脚目甲殻類の分類(15)-(20). 生物研究社 海洋と生物（隔月掲載、6回分）.
- Tanabe, K., Misaki, A., Landman, N. H. and Kato, T. (2013) The jaw apparatuses of Cretaceous Phylloceratina (Ammonoidea). *Lethaia*, 46, 399-408.
- 小原正顕・小西卓哉・御前明洋・松岡廣繁（2013）モササウルス発掘最前線—和歌山県有田川町の鳥屋城層より発見されたモササウルス類化石の発掘と標本処理—. *化石研究会会誌*, 46, 15-19.
- Misaki, A., Maeda, H., Kumagae, T. and Ichida, M. (2014) Commensal anomiid bivalves on Late Cretaceous heteromorph ammonites from south-west Japan. *Palaeontology*, 57, 77-95.
- Daisuke Suzuki, Kentaro Chiva, Collin S. VanBuren and Tomoyuki Ohashi (2014) The Appendicular Anatomy of the Elegant Crested Tinamou (*Eudromia elegans*). *Bulletin of the Kitakyushu Museum of Natural History and Human History Series A* 12: 1-48.
- Fikáček, M., Minoshima, Y., Vondráček, D., Gunter, N. & Leschen, R. A. B. (2013) Morphology of adults and larvae and integrative taxonomy of southern hemisphere genera *Tormus* and *Afrotormus* (Coleoptera: Hydrophilidae). *Acta Entomologica Musei Nationalis Pragae*, 53 (1): 75-126.
- Minoshima, Y., Hayashi, M., Kobayashi, N. & Yoshitomi, H. (2013) Larval morphology and phylogenetic position of *Horelophopsis hanseni* Satô et Yoshitomi (Coleoptera, Hydrophilidae, Horelophopsinae). *Systematic Entomology*, 38 (4): 708-722.
- 蓑島悠介, 2014. 北九州市立自然史・歴史博物館の紹介. *昆虫と自然*, 49 (2): 27-30.

### （2）学会等講演

- Yabumoto, Y. (2013) Cenozoic teleostean fish fossils from Japan. 9th Indo-Pacific Fish Conference, Okinawa, Japan. Naha, Okinawa.

- Miyata, S., Y. Yabumoto and H. Hirano (2013) Revision of a cyprinid fish, *Zacco* cf. *Zacco temminckii* from the Middle Pleistocene Nogami Formation, Kusu Basin, Oita Prefecture, Kyusyu, Japan. 9th Indo-Pacific Fish Conference, Okinawa, Japan. Naha, Okinawa.
- Miyata, S., Y. Yabumoto and H. Hirano (2013) Comparative study of the Pleistocene cyprinid fish of the genus *Zacco* from the Nogami Formation in Oita Prefecture, Japan and allied Recent taxa. Symposium on Systematics and Diversity of Fishes, National Museum of Nature and Science, Tokyo.
- Yabumoto, Y. (2013) A new sinamiid fish from Early Cretaceous Tetori Group in central Japan. 6th International Meeting on Mesozoic Fishes: Diversification and Diversity Patterns, Vienna, Austria.
- 籾本美孝・桜井憲二 (2014) 北海道羅臼町産中新世カサゴ亜目魚類について. 第163回日本古生物学会例会, 兵庫県立人と自然の博物館.
- 籾本美孝・御前明洋・大橋智之・小松俊文・三宅優佳・前川 匠・真鍋 真・平山 廉・楠橋 直 (2014) 鹿児島県下甕島北部の上部白亜系姫浦層群から産出した板鰓類化石. 第163回日本古生物学会例会, 兵庫県立人と自然の博物館.
- Yabumoto, Y. and T. Uyeno (2014) How coelacanths have survived beyond the mass extinction at the end of Mesozoic Era. Coelacanth Symposium 2014, Aquamarine Fukushima.
- 坂田拓司・岩本俊孝・馬場 稔 (2013) 九州山地のカモシカの生息状況 - 絶滅の危機に瀕する特別天然記念物 -. 日本動物学会九州支部 (第66回) 九州沖縄植物学会 (第63回) 日本生態学会九州地区会 (第58回) 合同熊本大会 (熊本大学)
- 馬場 稔・河野淳一・遠藤 晃・土肥昭夫 (2013) 大分県における自動撮影によるニホンカモシカ生息調査の試み. 第29回日本霊長類学会・日本哺乳類学会2013年度合同大会 (岡山理科大学)
- 坂田拓司・岩本俊孝・馬場 稔 (2013) 九州山地のカモシカ - 絶滅の危機を回避するには -. 第29回日本霊長類学会・日本哺乳類学会2013年度合同大会 (岡山理科大学)
- 馬場 稔 (2014) 北九州市制50周年と北九州市立自然史・歴史博物館 全国科学博物館協議会第21回研究発表大会 (北九州市立自然史・歴史博物館)
- 真鍋 徹・須田隆一・清水啓司 (2013) 多様な団体との協働による希少種の保全と新たな里山景観の創造. 日本景観生態学会第23回大会. 岩手大学工学部.
- 真鍋 徹・須田隆一・清水啓司・山本隆典 (2014) 多様な団体との協働による絶滅危惧沈水植物ガシヤモクの保全. 第61回日本生態学会大会. 広島国際会議場.
- 武石全慈 (2013) 中国双台河口塩性湿地でのズグロカモメ標識調査について. 日本鳥類標識協会2013年度大会シンポジウム. 滋賀県琵琶湖水鳥湿地センター.
- 太田泰弘・平山静男・野井英明 (2013) ジオ・ツーリズムの理解と涵養 (環境教育の視点から), 福岡県環境教育学会第16回年会 (久留米大学).
- 太田泰弘・石山沙耶・安東淳一 (2013) 下部白亜系脇野亜層群高津尾層の石灰岩礫に産するフズリナのタフオノミーについて, 日本地質学会第120年学術大会.
- 石山沙耶・安東淳一・中井俊一・太田泰弘 (2013) 平尾台カルストに露出するカタクレーサイト脈の成因, 日本地球惑星科学連合2013年大会.
- 石山沙耶・安東淳一・中井俊一・太田泰弘 (2013) 地質学的証拠に基づいた地殻流体が関与した岩石破壊過程の解明, 日本鉱物科学会 (筑波大学).
- 山根明弘 (2013) ノネコのオス間のマウンティング. 日本霊長類学会・日本哺乳類学会合同大会、ミニシンポ「野生動物の行動観察法入門」, 岡山理科大学.

- 森 康, 重野未来, 西山忠男 (2013) 交代作用の進行に伴う変形メカニズムの遷移: 西彼杵変成岩類の超塩基性メランジに見られる例. 日本鉱物科学会 2013 年年会, 筑波大学.
- 伊勢戸徹・太田悠造・大塚玄航・下村通誉他 9 名 (2013) 動物学ひろば「見てみよう触ってみようー多様な動物の世界ー」, 数ミリ以下の動物学. 日本動物学会第 84 回大会 (岡山県玉野市立玉野海洋博物館)
- Takuya Konishi, Masaaki Ohara, Akihiro Misaki and Hiroshige Matsuoka (2013) A new Mosasaurine (Squamata: Mosasauridae) with large flippers from the latest Campanian Hasegawa Muddy Sandstone Member outcropped in Wakayama Prefecture, western Japan: A preliminary report. The fourth Triennial International Mosasaur Meeting. Dallas, Texas.
- 御前明洋・岡崎美彦・水野吉昭 (2013) 高知県佐川地域の宮ノ原層産白亜紀後期アンモノイドとその層序学的意義. 日本古生物学会 2013 年年会. 熊本大学.
- 御前明洋・岡本 隆・前田晴良 (2014) 白亜紀異常巻アンモノイド *Pravitoceras* の殻形成過程の復元とその進化的意義. 日本古生物学会第 163 回例会. 兵庫県立人と自然の博物館.
- 鈴木大輔・大橋智之 (2013) ハドロサウルス類の腱付着部の組織学的構造. 日本古生物学会 2013 年年会. 熊本大学.
- Kazunori Miyata, Yoshihiko Okazaki, Harutaka Sakai, Tomoyuki Ohashi and Yukimitsu Tomida (2013) First Record of a Primitive Rhinocerotoid *Hyrachyus* from the Middle Eocene of Japan. 73<sup>rd</sup> Annual Meeting of Society of Vertebrate Paleontology. Los Angeles, USA.
- Tomoyuki Ohashi (2014) An Overview of Terrestrial Vertebrate Fossil Assemblages of the Lower Cretaceous Kwanmon Group, Kitakyushu, Japan. International Symposium on Asian Dinosaurs in Fukui. Fukui.
- 蓑島悠介 (2013) ガムシ科の幼虫形態と系統. 日本昆虫学会九州支部第 70 回例会, 九州大学, 福岡市.
- 蓑島悠介・岩田泰幸・林成多 (2013) クナシリシジミガムシの幼虫形態と水生ガムシ科幼虫の浮力確保方法 (鞘翅目・ガムシ科). 日本昆虫学会第 73 回大会, 北海道大学, 札幌市.
- 蓑島悠介・大原昌宏 (2013) オオツヤヒラタガムシ属 (鞘翅目・ガムシ科) の再検討. 日本甲虫学会第 4 回大会・日本昆虫学会関東支部第 50 回大会合同大会, 東京農業大学, 厚木市.
- Fikáček, M., Minoshima, Y., Vondráček, D., Gunter, N. & Leschen, R. A. B. (2013) Surprising morphological diversity of New Zealand hydrophilid larvae: a preliminary report. Immature Beetles Meeting 2013, Charles University, Prague.
- Minoshima, Y. (2013) Introduction of some techniques of larval study. Immature Beetles Meeting 2013, Charles University, Prague.

### (3) 外部資金取得状況

#### 【科学研究費補助金】

- 基盤研究 (C). 新たな自然史資料としての動画の収集・活用手法の構築. 研究代表者: 真鍋 徹. 2011-2013 年度.
- 基盤研究 (C). 変成/交代反応と変形の連結に関する速度論的研究. 研究代表者: 森 康. 2012-2014 年度.
- 若手研究 (B). 超寄生性甲殻類カクレヤドリムシ類の起源と進化. 研究代表者: 下村通誉. 2012-2014 年度.
- 若手研究 (B). 付着生物を鍵とした化石軟体動物の古生態の解明と中生代海洋環境の復元. 研究代表者: 御前明洋. 2013-2015 年度.

## 2 1. 学芸員研究業績（歴史）

### （1）論文・著書など

松井和幸（2014）「中世小倉鋳物師について」『広島の考古学と文化財保護』（pp. 1～10）

富岡優子（2014）「仏涅槃図の研究－図像とテキストの関係をめぐって－」（大阪大学学位申請論文）

富岡優子（2014）「京都・万寿寺所蔵涅槃変相図試論－兼修寺院における涅槃図の可能性－」『デア  
ル  
テ』（pp. 5～26）

守友 隆（2013）「福岡荒戸山東照宮についての一考察－福岡藩における東照大権現（徳川家康）信仰」  
『福岡地方史研究』第 51 号（pp. 42～57）

守友 隆（2014）「北九州市立自然史・歴史博物館寄託「野村家系譜」の紹介－福岡藩黒田家重臣野村  
家の由緒と事績－」『北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 B 類歴史』第 11 号（pp. 60（1）  
～20（41））

中西義昌（2014）「「椛山之陣以来」にある「椛山之陣」は何を指すのか？－竹井英文氏「その後の「杉  
山城問題」における批判に答える－」別府大学史学研究会『史学論叢』第 44 号（pp. 75～87）

### （2）学会等講演

松井和幸ほか（2013）「土製甌露の操業および鉄製農具の復元実験について」 たたら研究  
会平成 25 年度岡山大会

松井和幸（2013）「日本の石積み製鉄炉に関する基調報告」蔚山セブリ祭り・韓国鉄文化研  
究会共催 韓国の石積み製鉄炉に関するシンポジウム

日比野利信（2014）「陸軍長州閥と寺内正毅」シンポジウム「桜園寺内文庫の可能性 一新  
出資料が語る近代日本」山口県立大学

守友 隆（2013）「幕末期対馬藩を中心とした海外事件情報流通」第 15 回七隈史学大会日  
本史部会

中西義昌（2013）「縄張り研究の独自性と今後の展望－1980 年代以降の新しい城郭研究が目  
指すもの－」第 30 回全国城郭研究者セミナー「縄張・考古・文献－城郭研究の明日－」  
駒澤大学

### （3）外部資金取得状況

#### 【科学研究費補助金】

基盤研究（C）. 考古学から見た中世鋳物師の総合的研究. 研究代表者：松井和幸. 2011-2013 年度.

基盤研究（C）. 近代日本における企業家の社会史－政治・経済・文化－. 研究代表者：日比野利信.  
2012-2014 年度.

若手研究（B）. 幕末における海外文化の収集活動と翻訳について. 研究代表者：上野晶子. 2013-2015  
年度.

若手研究（B）. 近世後期日朝間における情報流通の研究－対馬藩宗家史料を素材として. 研究代表者：  
守友 隆. 2012-2014 年度.

## 2 2. 博物館刊行物

### (1) 研究報告 A 類 自然史 第 12 号 (2014 年 3 月 31 日発行)

Daisuke Suzuki, Kentaro Chiba, Collin S. VanBuren & Tomoyuki Ohashi. The appendicular anatomy of the elegant crested tinamou (*Eudromia elegans*). pp.1-48. [鈴木大輔・千葉謙太郎・Collin S. VanBuren・大橋智之. カンムリシギダチョウ (*Eudromia elegans*) の四肢の解剖. pp. 1-48.]

### (2) 研究報告 B 類 歴史 第 111 号 (2014 年 3 月 31 日発行)

#### 【論文】

沖 憲明・松井和幸 「鶴崎一永氏採集 北海道紋別郡内採集資料の紹介」(pp. 1-18)

#### 【資料紹介】

守友 隆 「北九州市立自然史・歴史博物館寄託「野村家系譜」の紹介 一福岡藩黒田家重臣野村家の由緒と事績一」(pp. 20-60)

### (3) 図 書

『北九州市制 50 周年記念 邪馬台国が見える!! 古代日本の原風景』(2013 年 9 月 14 日発行)

『北九州市制 50 周年記念 仁川広域市立博物館・旅順博物館の名品展』(2013 年 12 月 21 日発行)





年 報  
平成 25 年度

---

発行日 平成 27 年 2 月 15 日  
編集・発行 北九州市立自然史・歴史博物館  
北九州市八幡東区東田 2-4-1  
TEL. 093-681-1011  
FAX. 093-661-7503  
<http://www.kmh.jp>  
北九州市印刷物登録番号 第 1408104A 号  
印刷・製本 株式会社 スピナ



北九州市立 自然史・歴史博物館

いのちのたび博物館

KITAKYUSHU MUSEUM OF NATURAL HISTORY & HUMAN HISTORY